

北谷町子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
(平成30年度実施)

調査結果の報告(概要版)



## 目次

■ 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収率	1
6. 回収状況	1
■ 調査結果（共通）	
1. 兄弟の状況	2
2. 世帯の状況	3
1 子育て家庭の状況	4
1. 日頃お子さんを見てもらえる方	4
2. 気軽に相談できる人・場所の有無	5
3. 相談先	5
4. 悩み事、困っていることの内容	6
5. 行政に望む子育て支援の内容（就学前のみ）	8
6. 孤独を感じる時	9
2 母親の就労について	11
1. 母親の現在の就労状況	11
2. 現在就労していない母親の就労希望	12
■ 就学前児童調査より（教育・保育サービス、子育て支援、育休等）	
1 教育・保育サービスの利用について	13
1. 教育・保育のサービスの利用の有無	13
2. 利用している教育・保育のサービスの状況	14
3. 利用している教育・保育サービスの場所	14
4. 教育・保育サービスを利用していない理由	15
5. 教育・保育のサービスの利用希望	16
6. 利用したい教育・保育のサービスの場所	18
7. 教育・保育サービスの満足度	19
8. 教育・保育サービスを選ぶときに重視すること	20
9. 認定こども園の利用希望	20
10. 複数年保育の幼稚園の利用意向	21
11. 町立幼稚園で複数年保育を利用する際の条件について	21
2 土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の教育・保育サービスの利用	22
1. 土曜日・日曜日の利用希望	22

2. 長期休暇期間の教育・保育サービスの利用希望	22
<b>3 地域子育て支援センターについて</b>	<b>23</b>
1. 地域子育て支援センターの利用状況、利用希望	23
2. 地域子育て支援センターで利用したい内容	24
<b>4 病児・病後児保育について</b>	<b>26</b>
1. 子どもの病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったこと	26
2. 病児・病後児保育の利用希望	27
<b>5 一時預かりについて</b>	<b>28</b>
<b>6 育児休業等について</b>	<b>29</b>
1. 育児休業の取得状況	29
2. 育児休業を取得しなかった理由	30
3. 1歳になるまで育児休業を取得したいか	32
4. 育児休業の取得期間と希望取得期間の違い	32
5. 希望より早く復帰した理由	32
6. 希望より遅く復帰した理由	33
7. 仕事と子育ての両立のため必要な企業の取り組み	33
<b>■ 小学生保護者調査より（放課後の過ごし方、学童クラブ、児童館）</b>	
<b>1 放課後の過ごし方について</b>	<b>34</b>
1. 現在の放課後の過ごし方	34
2. 希望する放課後の過ごし方	36
<b>2 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について</b>	<b>38</b>
1. 放課後児童クラブ(学童保育)の現在の利用状況と利用希望	38
2. 放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由	39
3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用料の希望	40
4. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用を希望する理由	41
<b>3 児童館の利用について</b>	<b>42</b>
1. 児童館の利用状況	42
2. 児童館を利用していない理由	43
<b>■ 自由回答</b>	
<b>1 自由回答のまとめ</b>	<b>45</b>
(1) 就学前児童保護者調査結果より	45
(2) 小学生保護者調査結果より	47



## ■ 調査の概要

### 1. 調査の目的

平成 31 年度に策定する「第 2 期子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とするため、就学前の教育・保育施設等の利用や小学生の放課後児童クラブなどのニーズ及び子育て家庭の実態を把握するために本調査を実施した。

### 2. 調査の対象者

町内に在住する就学前児童と小学生(1～6年生)の保護者を調査対象とした2種類の調査を実施。

就学前児童保護者調査は1,562人、小学生保護者調査は1,405人に配布。就学前児童調査は、一世帯に複数の調査票が配布されないように調整を行った。小学生保護者調査は、学校・学年別の児童数を勘案しながらクラス単位で配布するように調整を行った。

### 3. 調査方法

就学前児童保護者調査 …………… 郵送による発送・回収  
小学生保護者調査(1年～6年生) …………… 小学校を通じての配布・回収

### 4. 調査期間

平成31年1月(就学前:1月10日～1月22日、小学生:1月15日～1月26日)

### 5. 回収率

	配布件数	回収件数	回収率
就学前児童保護者調査	1,562件	511件	32.7%
小学生保護者調査	1,405件	856件	60.9%

### 6. 回収状況

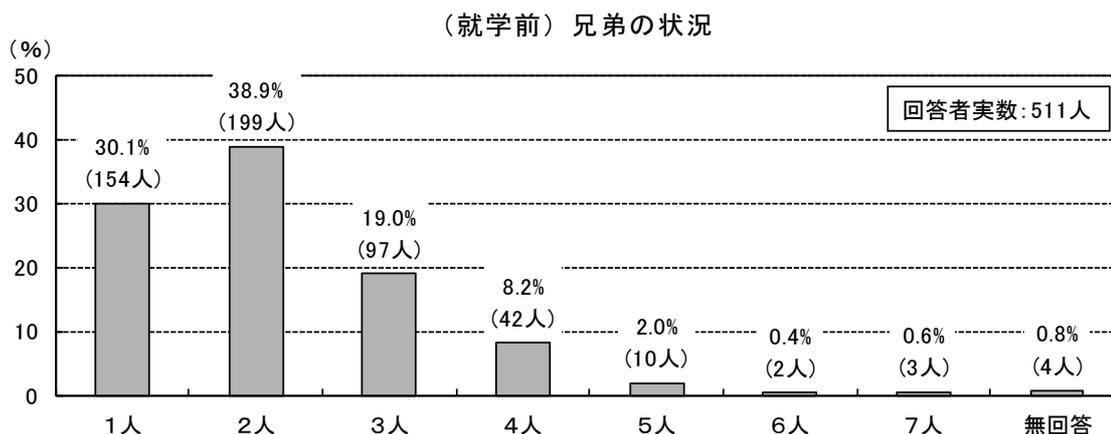
回収状況を居住地の小学校区に見ると、就学前では北玉小学校区で実際の比率より多めに回収されているが、概ね実際の比率に近似している。また、小学生では、北谷第二小学校区が実際の比率より多めに回収されているものの、回収による地域のバランスは概ね保たれている。

## ■ 調査結果（共通）

### 1. 兄弟の状況

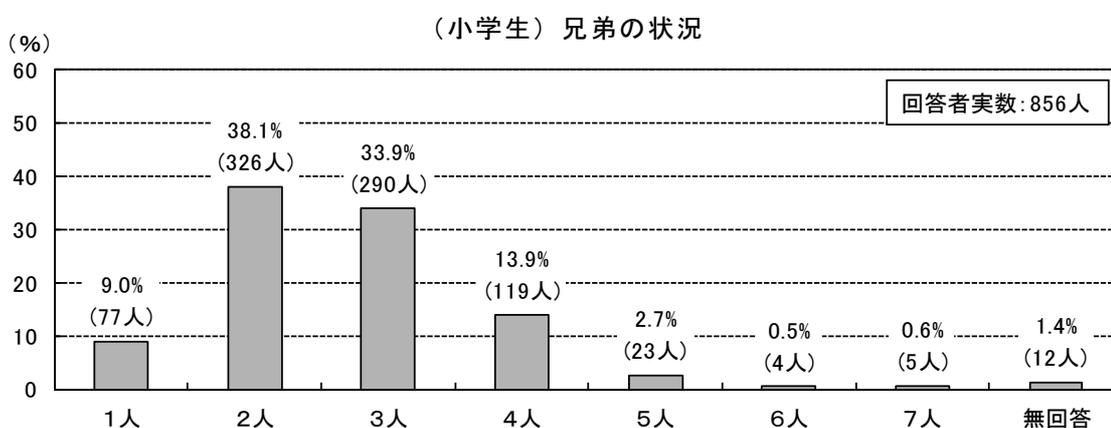
（就学前）

兄弟の数を見ると、就学前児童では、「2人」が38.9%で最も高く、次いで「1人」の30.1%となっている。兄弟2人までが7割近くを占める。また、「3人」という回答は19.0%で約2割を占めている。



（小学生）

兄弟の数を見ると、小学生では、「2人」が38.1%で最も高く、次いで「3人」の33.9%となっている。兄弟2～3人の子が7割余りを占める。また、「4人」という回答が13.9%あった。



（就学前）

中学校区別に見ると、「2人」という回答は両中学校区ともに39%弱で差はないが、「1人」は桑江中学校区で、9ポイントほど高く、「3人」は北谷中学校区の方が5ポイントほど高い。

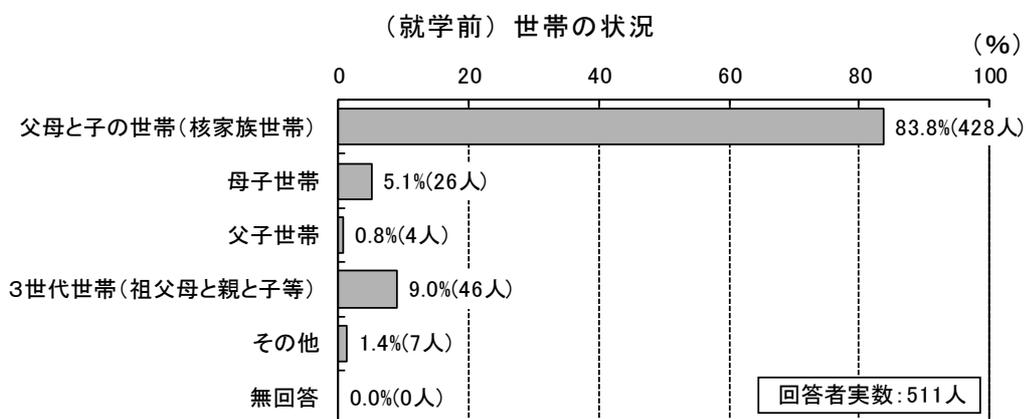
（小学生）

中学校区別に見ると、「2人」という回答は、北谷中学校区が36.3%、桑江中学校区が39.9%であり、僅かではあるが桑江中学校区の方が高い。また、「3人」、「4人」という回答は、北谷中学校区の方が、桑江中学校区よりわずかに高くなっている。

## 2. 世帯の状況

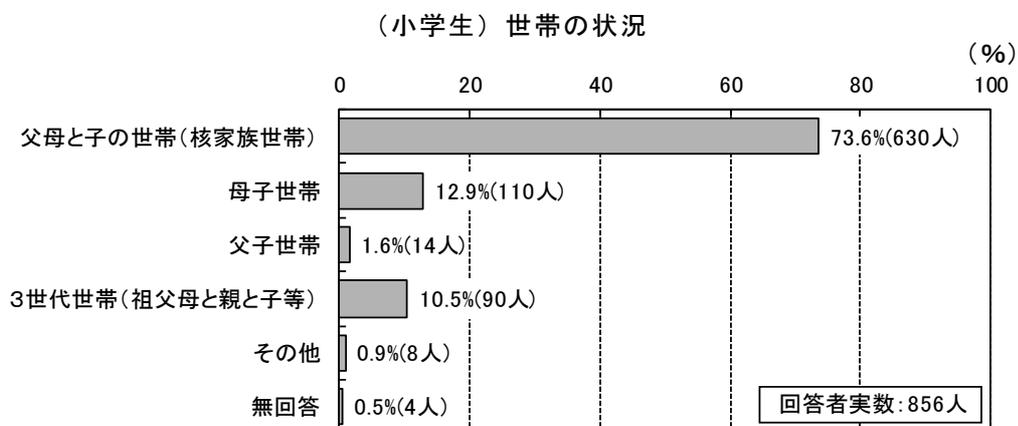
(就学前)

世帯構成について見ると、「父母と子の世帯(核家族世帯)」が83.8%でほとんどを占めている。「3世代世帯(祖父母と親と子等)」は9.0%、「母子世帯」は5.1%、「父子世帯」は0.8%となっている。



(小学生)

世帯構成について見ると、「父母と子の世帯(核家族世帯)」が73.6%でほとんどを占めている。次いで高いのは「母子世帯」の12.9%、「3世代世帯(祖父母と親と子等)」は10.5%、「父子世帯」は1.6%となっている。



(就学前)

世帯構成を中学校区別に見ると、3ポイントほどであるが、「父母と子の世帯(核家族世帯)」は北谷中学校区の方が高く、「3世代世帯(祖父母と親と子等)」は桑江中学校区の方が高くなっている。

(小学生)

世帯構成を中学校区別に見ると、3ポイントほどであるが、「父母と子の世帯(核家族世帯)」は北谷中学校区の方が高い。また、「母子世帯」北谷中学校区が12.1%、桑江中学校区が13.6%であり、地域による差はほとんどない。

# 1 子育て家庭の状況

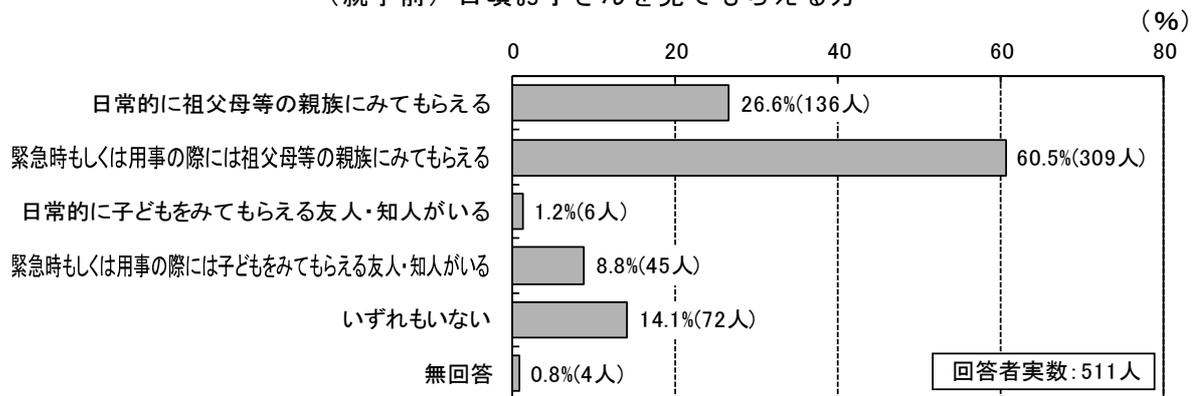
## 1. 日頃お子さんを見てもらえる方

(就学前)

お子さんを見てもらえる方について尋ねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に見てもらう」が60.5%で非常に高くなっている。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらう」が26.6%あり、ほとんどの家庭で、祖父母等の親族に見てもらう環境にあることがわかる。

一方、お子さんを見てもらえる方が「いずれもない」という回答は14.1%となっている。

(就学前) 日頃お子さんを見てもらえる方

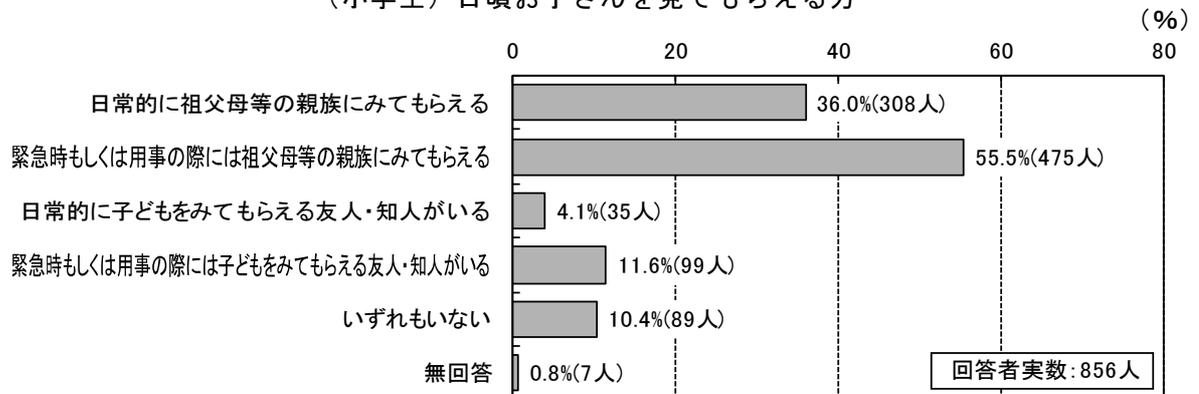


(小学生)

お子さんを見てもらえる方について尋ねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に見てもらう」が55.5%で非常に高くなっている。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらう」が36.0%あり、多くの世帯で祖父母等の親族に見てもらう環境にあることがわかる。

一方、お子さんを見てもらえる方が「いずれもない」という回答は10.4%となっている。

(小学生) 日頃お子さんを見てもらえる方

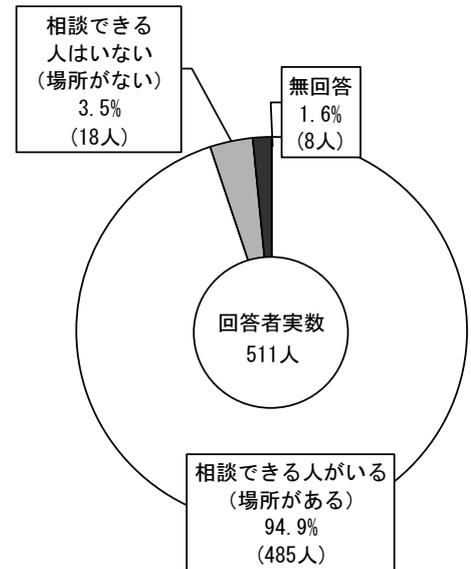


## 2. 気軽に相談できる人・場所の有無

(就学前)

気軽に相談できる人や場所の有無を尋ねたところ、「相談できる人がいる」という回答が90%を超えている。その一方で、就学前児童保護者の3.5%は「相談できる人がいない」としている。

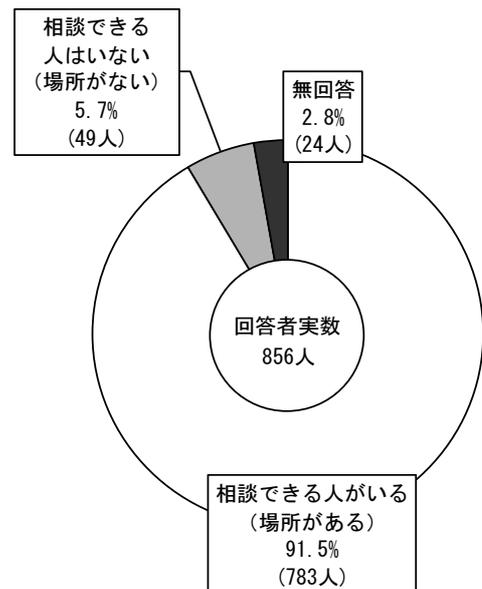
気軽に相談できる人・場所の有無



(小学生)

「相談できる人がいる」という回答が90%を超えている。小学生保護者の5.7%は「相談できる人がいない」としている。

気軽に相談できる人・場所の有無



## 3. 相談先

(就学前)

相談先としては、「祖父母等の親族」が84.1%、「友人や知人」が72.4%であり、身近な人が大半を占めている。

身近な人以外では、「保育士」が33.4%であり、その他の相談先と比べて高くなっている。

(小学生)

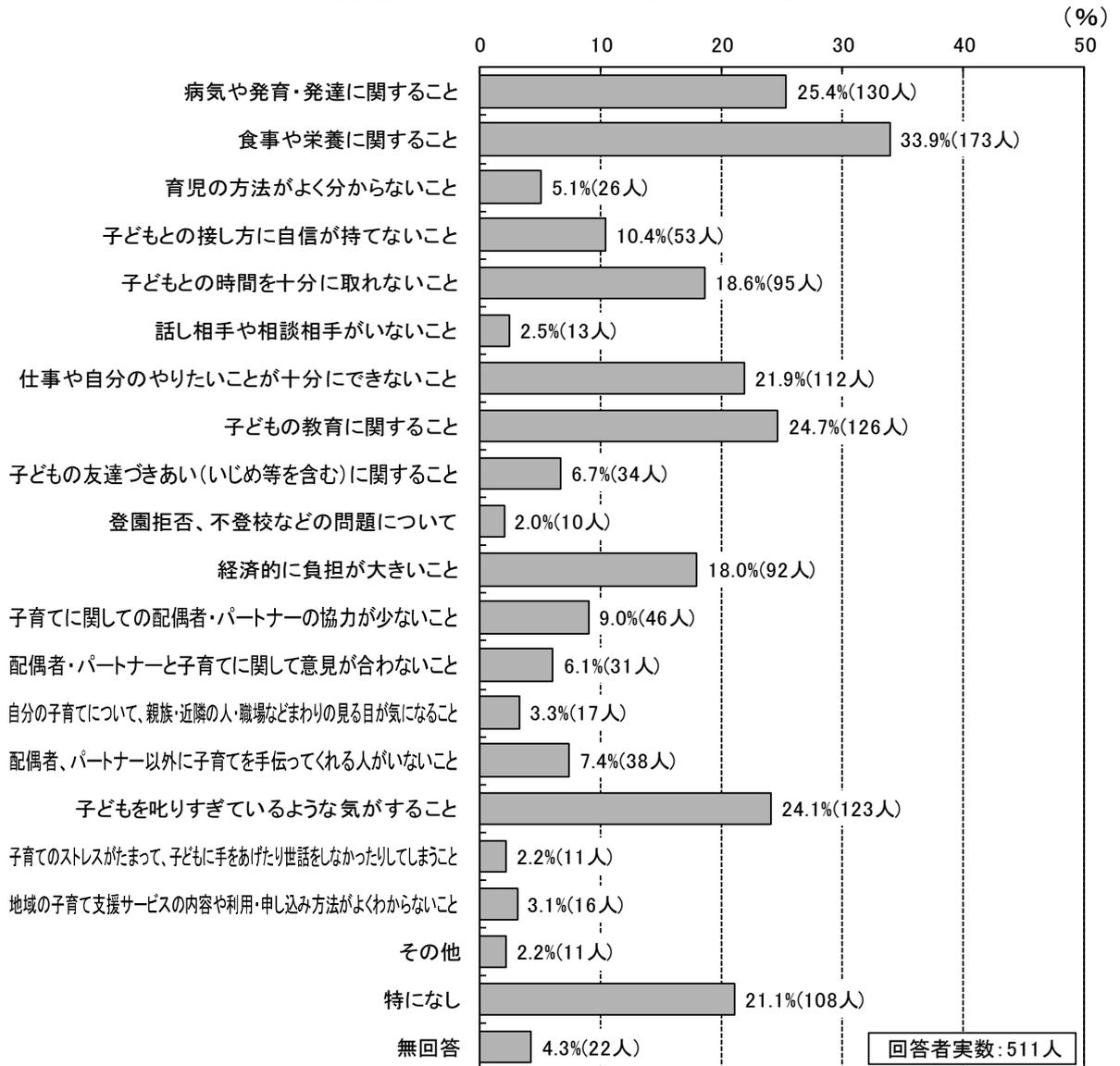
相談先としては、「祖父母等の親族」(82.5%)、「友人や知人」(74.5%)といった身近な人が大半を占めている。身近な人以外では、「学校の先生」(24.5%)がやや高い。

#### 4. 悩み事、困っていることの内容

(就学前)

就学前児童保護者では、「食事や栄養に関すること」(33.9%)が悩み事で最も高くなっている。その他、「病気や発育・発達に関すること」(25.4%)や「子どもの教育に関すること」(24.7%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(24.1%)が比較的高くなっている。

(就学前) 悩み事、困っていることの内容



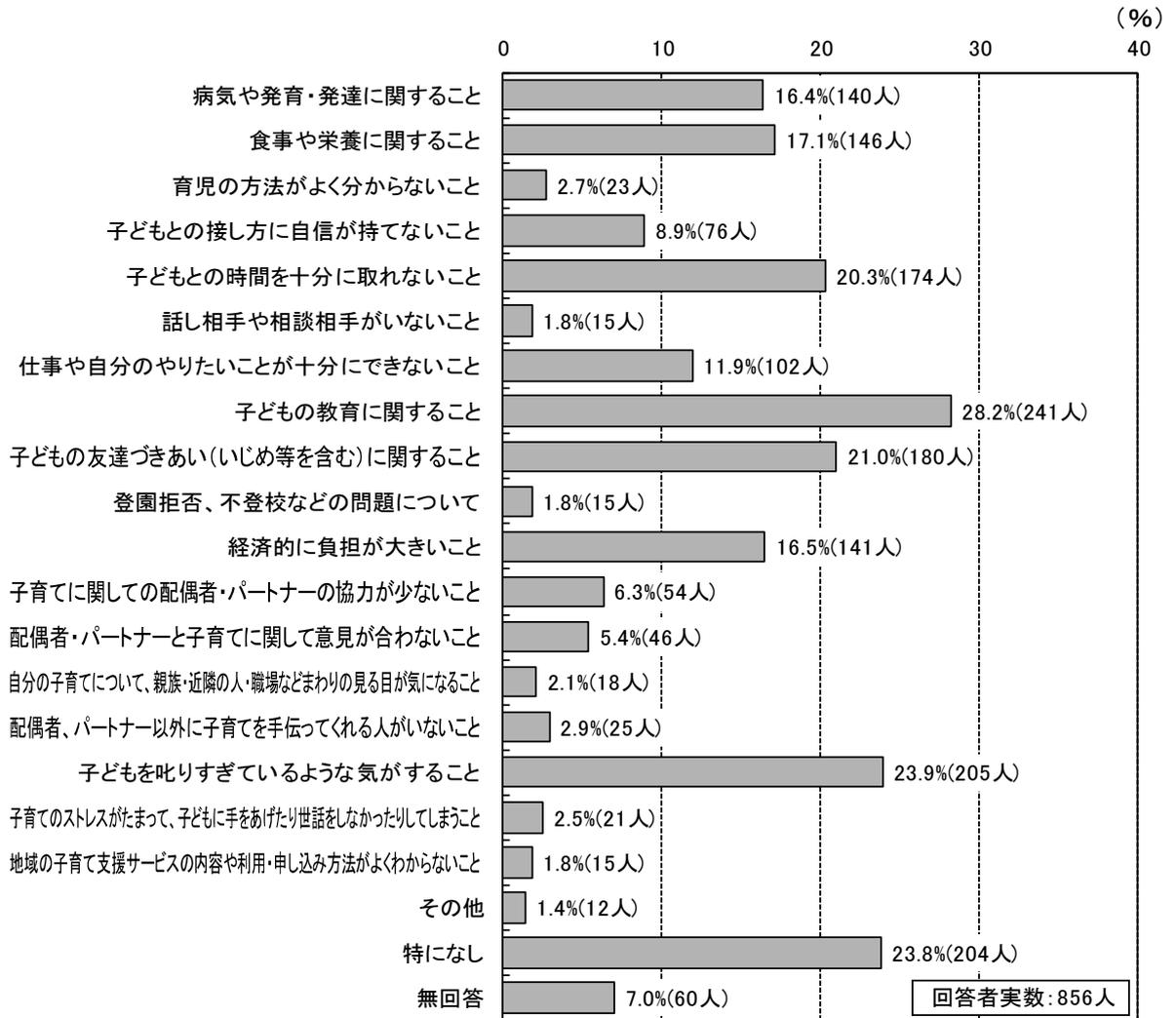
(就学前)

子どもの年齢別に見ると、「食事や栄養」は0歳児～1歳児が50%近くとなっており、2歳児や3歳児でも30%台後半を占めている。「病気や発育・発達」も、低年齢児の方で高い傾向にある。「子どもの教育」は1歳児以上で20%台であり、特に4歳児、5歳児は30%近くとなる。「子どもを叱りすぎているような気がする」では、3歳児以上で30%程度を占めている。

(小学生)

小学生児童保護者では、「子どもの教育に関すること」(28.2%)が悩み事で最も高くなっている。その他、「子どもを叱りすぎているような気がする」(23.9%)、「子どもの友達づきあいに関すること」(21.0%)、「子どもとの時間を十分に取れないこと」(20.3%)が比較的高くなっている。

(小学生) 悩み事、困っていることの内容



(小学生)

子どもの学年別に見ると、「子どもの教育」は4年生と6年生で30%台となっており、他の学年よりやや高い。

「子どもを叱りすぎているような気がする」は、学年が低い方で割合が高い傾向にあり、1年生では29.7%と30%近くを占めているが、6年生では16.8%にとどまっている。

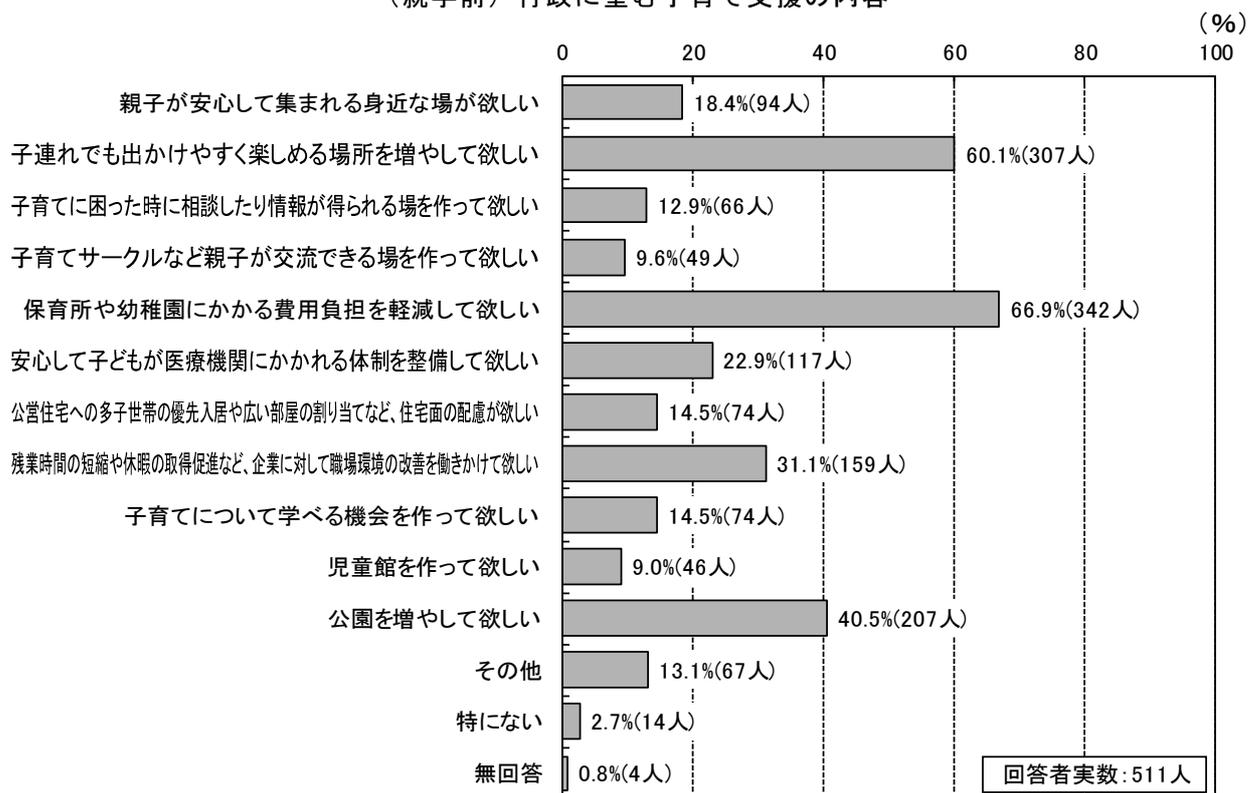
## 5. 行政に望む子育て支援の内容（就学前のみ）

行政に望む子育て支援について、就学前児童保護者に尋ねた。

「保育所や幼稚園に係る費用負担を軽減してほしい」という経済的負担軽減を望む声が66.9%で最も高くなっている。これに次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」の60.1%が高い。

また、「公園を増やしてほしい」が40.5%あり、3番目に高くなっている。

（就学前）行政に望む子育て支援の内容



## 6. 孤独を感じる時

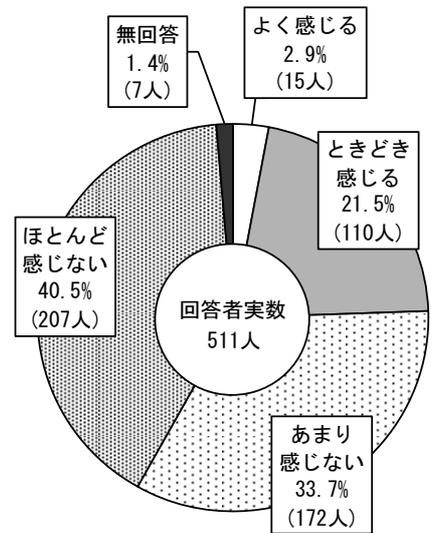
(就学前)

「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた“孤独感あり”の割合は、就学前児童保護者で24.4%、となっている。

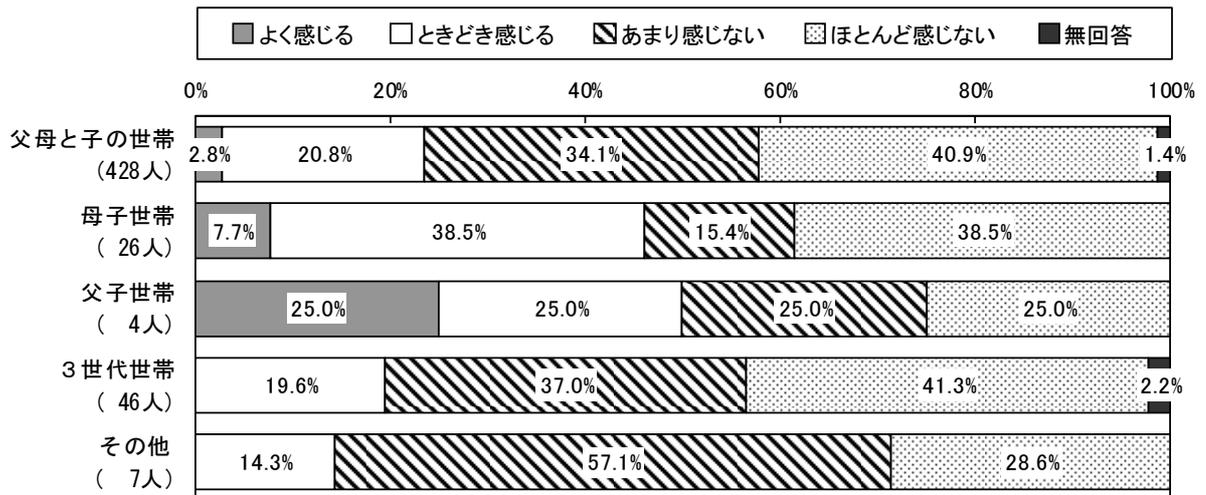
また、孤独感について、世帯構成別で見ると、母子家庭で“孤独感あり”が突出して高く、46.2%と4割半ばに及んでいる。父子家庭は対象者数が4人と非常に少ないが、母子家庭と同様に孤立感を感じている割合が非常に高い。

“孤独感あり”について子どもの年齢別で見ると、“孤独感あり”は0歳児が9.8%と一番低く、1歳児になると32.1%と3倍以上になり、最も高くなる。2歳児以降は年齢が上がるにつれ、少しずつ減少していくが、4歳を境に増加に転じ、3割近くに及んでいる。

(就学前) 孤独を感じる時

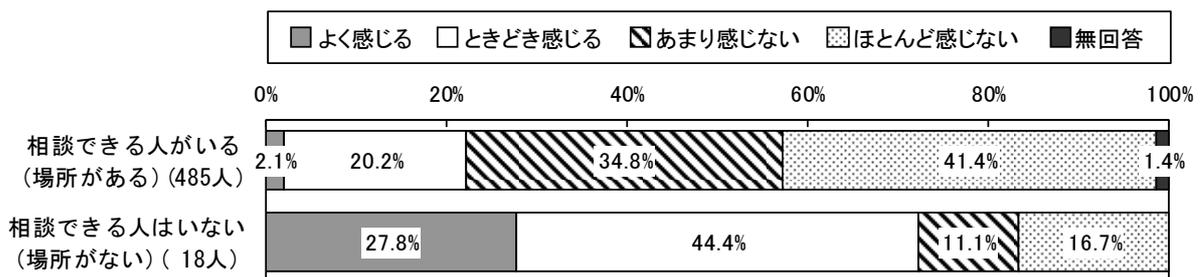


(就学前) 世帯別 孤独を感じる時



相談先の有無別に見ると、「相談できる人がいる」という回答では、“孤独感あり”が22.3%であるのに対し、「相談できる人がいない」では、72.2%と7割余りを占めている。さらに「(孤独感を)よく感じる」も「相談できる人はいない」で27.8%となっており、相談先の有無と子育ての孤独感で関係性が見られる。

(就学前) 相談先の有無別 孤独を感じる時



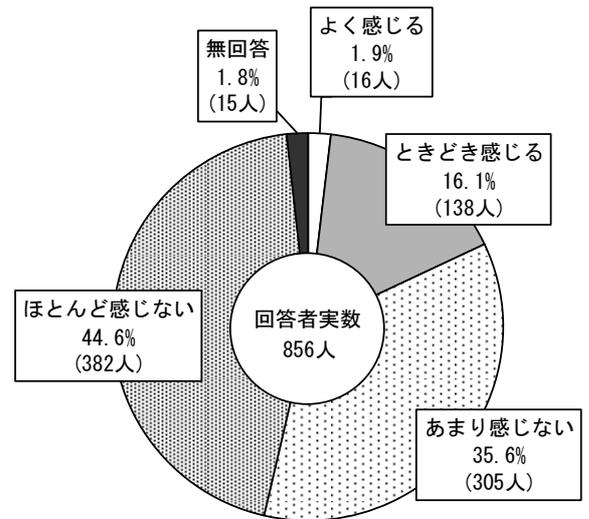
(小学生)

「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた“孤独感あり”の割合は、小学生保護者で 18.0%となっている。

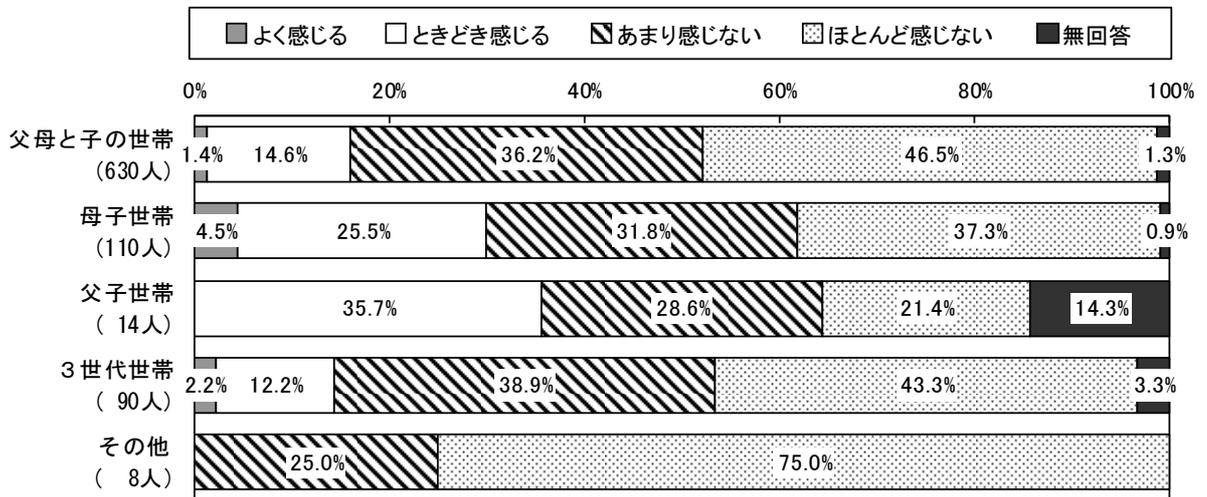
また、世帯構成別に見ると、母子世帯で“孤独感あり”が 30%を占めており、他の世帯構成と比べて非常に高くなっている。父子家庭は対象者数が 14 人と非常に少ないが、こちらも母子世帯と同様に“孤独感あり”の割合が高い。

ひとり親家庭の方が、両親世帯より孤立を感じている割合が高くなっている。

(小学生) 孤独を感じる時

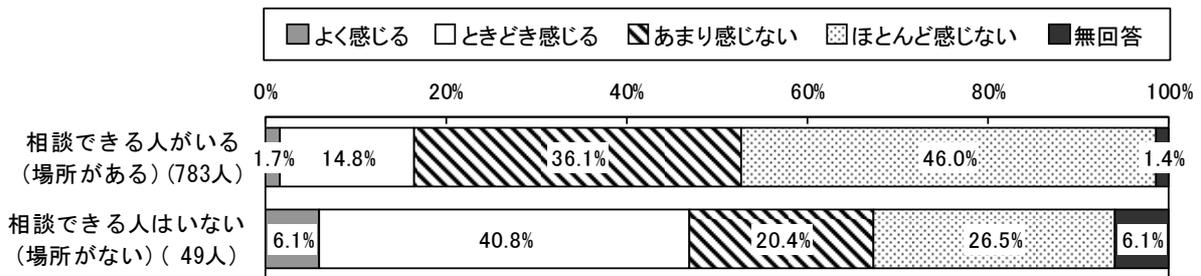


(小学生) 世帯別 孤独を感じる時



相談先の有無別に見ると、「相談できる人がいる」という回答では、“孤独感あり”が 16.5%であるのに対し、「相談できる人がいない」では、46.9%と 4 割半を占めている。相談先の有無と子育ての孤独感で関係性が見られる。

(小学生) 相談先の有無別 孤独を感じる時



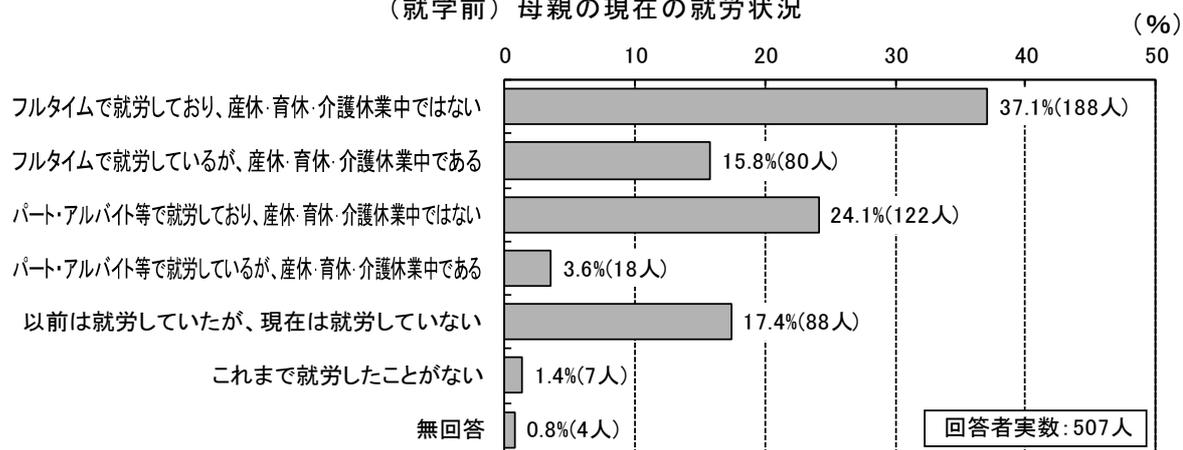
## 2 母親の就労について

### 1. 母親の現在の就労状況

(就学前)

就学前児童の母親の就労状況を見ると、フルタイムで働いている母親(産休、育休等含む)は52.9%(37.1%+15.8%)、パート・アルバイトが27.7%(24.1%+3.6%)であり、働いている母親が80.6%を占めている。就労していない母親は18.8%である。

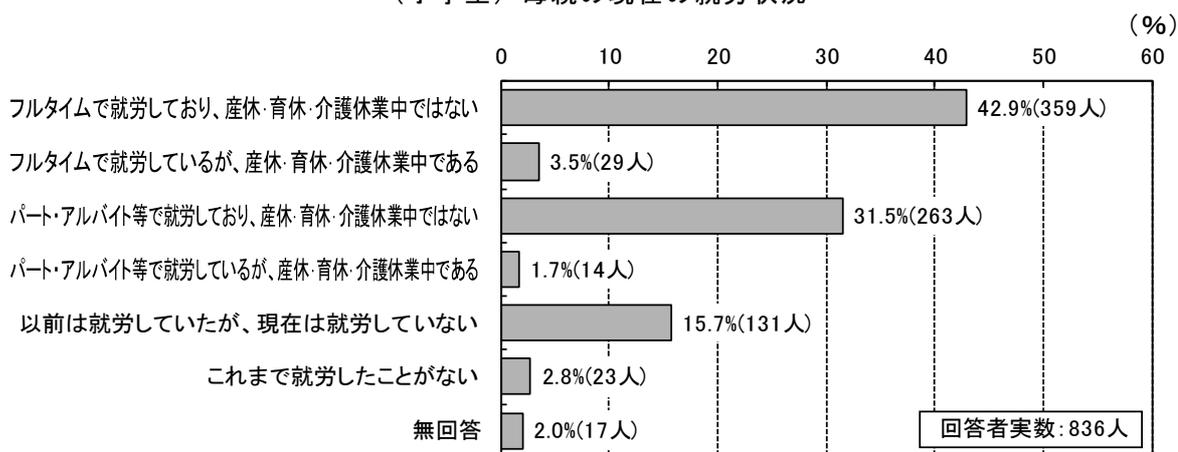
(就学前) 母親の現在の就労状況



(小学生)

小学生児童の母親の就労状況を見ると、フルタイムで働いている母親(産休、育休等含む)は46.4%(42.9%+3.5%)、パート・アルバイトが33.2%(31.5%+1.7%)であり、働いている母親が79.6%を占めている。就労していない母親は18.5%(15.7%+2.8%)である。

(小学生) 母親の現在の就労状況



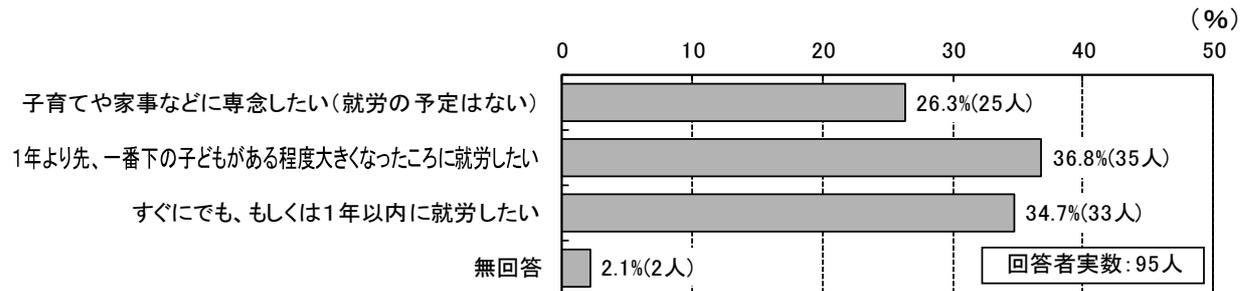
## 2. 現在就労していない母親の就労希望

(就学前)

就労していない母親のうち、すぐにでも働きたいと考えている割合は就学前児童保護者で34.7%となっている。

また、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」という回答は36.8%あるが、具体的に一番下の子が何歳になったら働きたいか尋ねたところ、1歳、3歳、6歳という回答が比較的多くなっている。

(就学前) 現在就労していない母親の就労希望

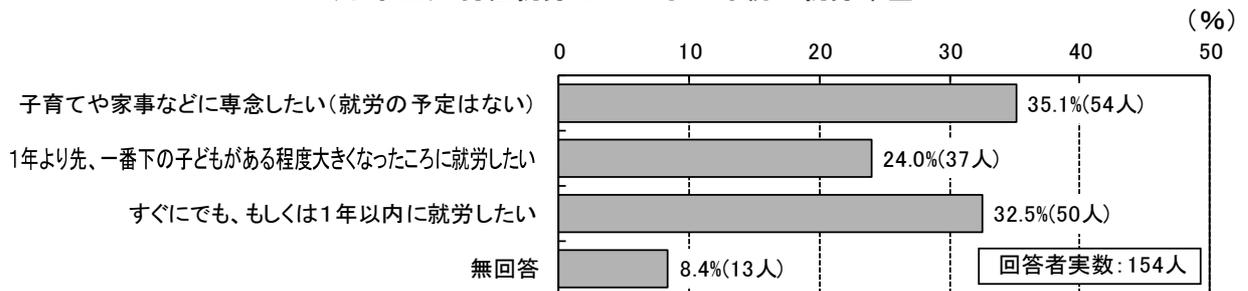


(小学生)

就労していない母親のうち、すぐにでも働きたいと考えている割合は、小学生保護者で32.5%となっている。

また、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」という回答は24.0%あるが、具体的に一番下の子が何歳になったら働きたいか尋ねたところ、「6歳」、「10歳」という回答が比較的多くなっている。

(小学生) 現在就労していない母親の就労希望



■ 就学前児童調査より（教育・保育サービス、子育て支援、育休等）

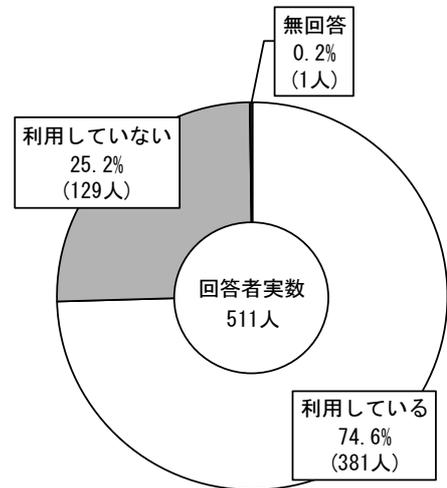
1 教育・保育サービスの利用について

1. 教育・保育のサービスの利用の有無

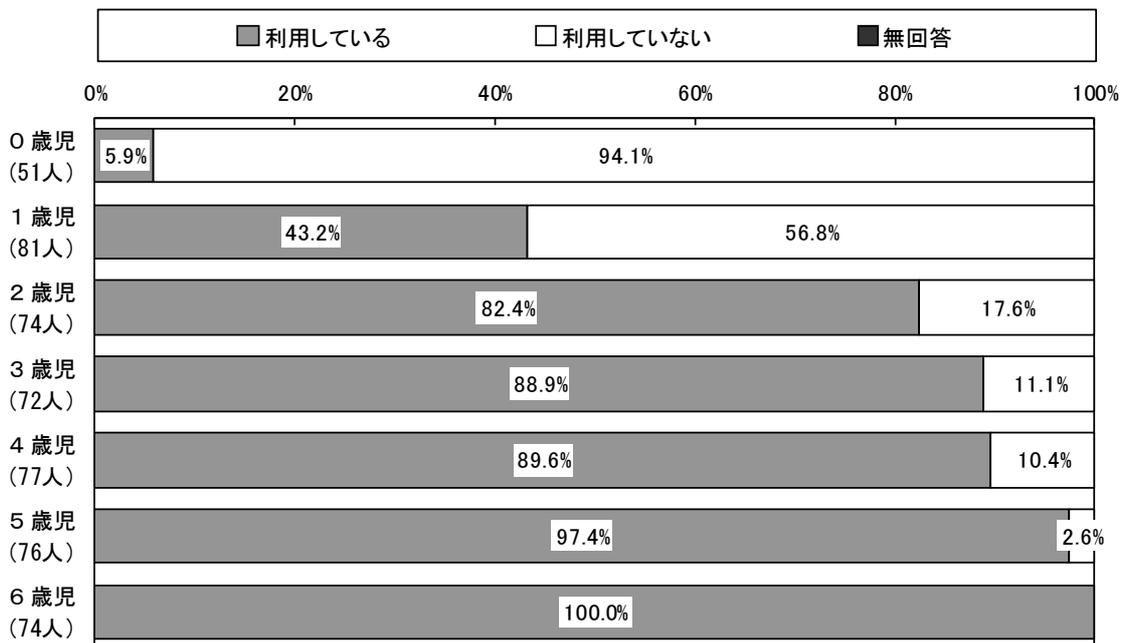
就学前の教育・保育サービス利用は 74.6%となっている。

子どもの年齢別に見ると、0歳児と1歳児では利用していない割合が大半を占めている。2歳児からは、80%以上が教育・保育サービスを利用している。（学年を考慮してみる必要がある。6歳＝5歳クラス）

教育・保育のサービスの利用の有無

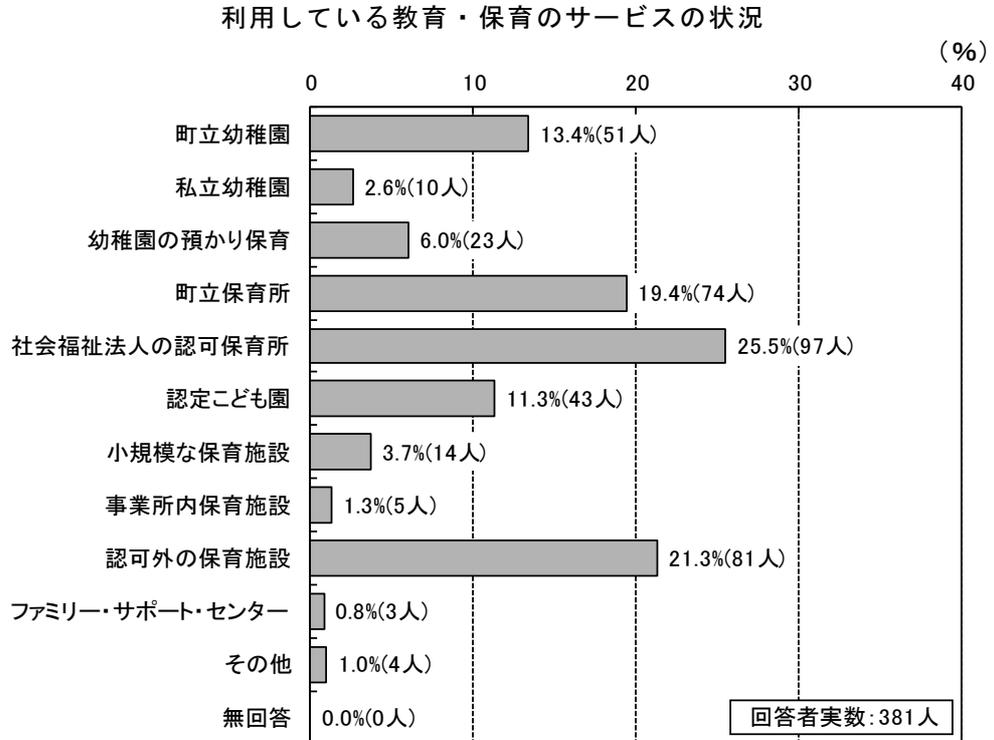


子どもの年齢別 教育・保育のサービスの利用の有無



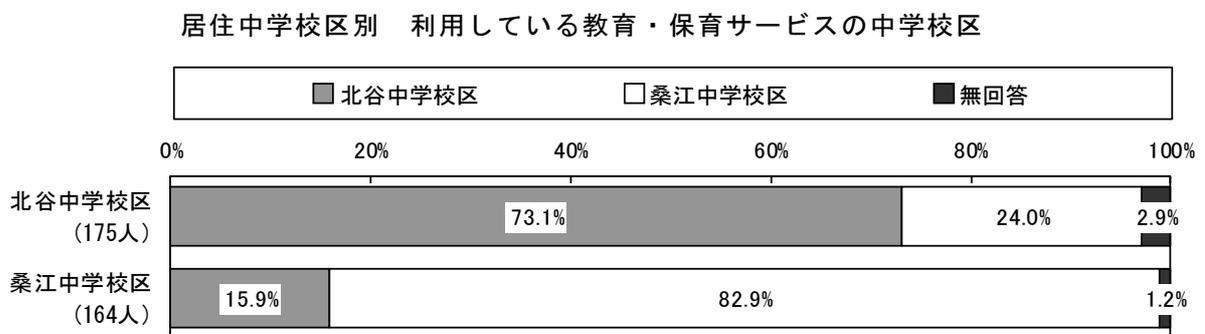
## 2. 利用している教育・保育のサービスの状況

「社会福祉法人の認可保育所」の利用が最も高く 25.5%、これに次いで多いのは「認可外の保育施設」で 21.3%となっている。町立保育所も 19.4%と約 20%ある。



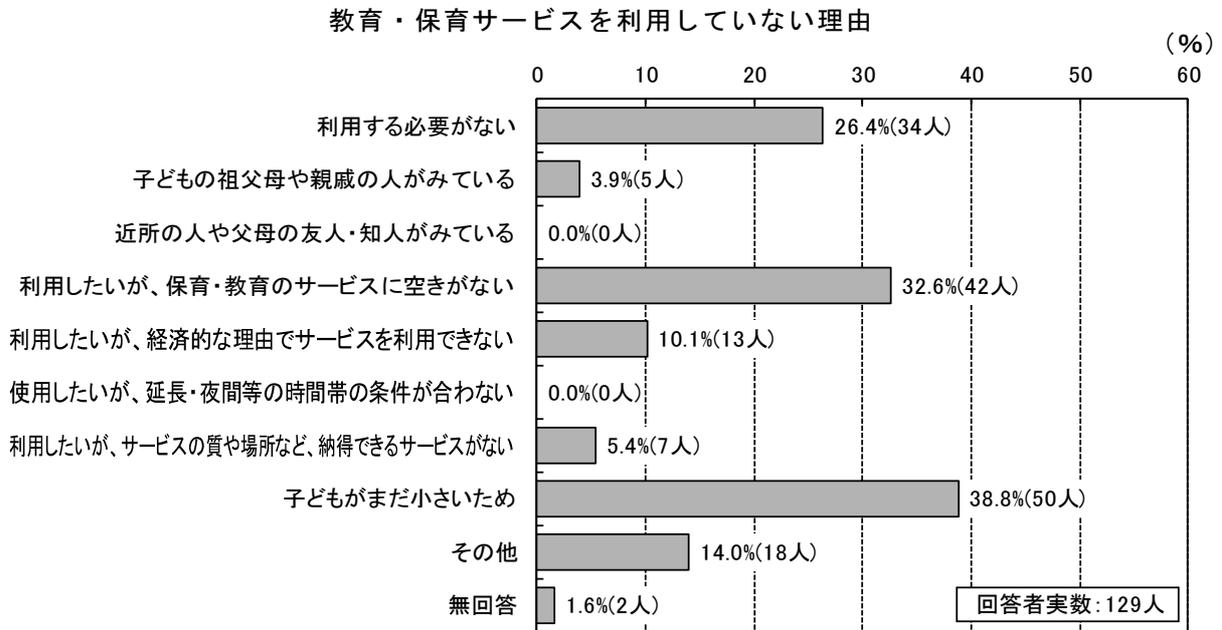
## 3. 利用している教育・保育サービスの場所

居住している中学校区と教育・保育サービス利用地区との関係を見ると、北谷中学校区在住で同地区内のサービスを利用している割合が 73.1%、桑江中学校区在住で同地区内のサービスを利用している割合が 82.9%となっており、大半の人が住まいのある地区内の教育・保育施設等を利用していることがわかる。特に桑江中学校区の方でその傾向が高い。



#### 4. 教育・保育サービスを利用していない理由

利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため」が 38.8%で最も高いが、「教育・保育サービスに空きがない」という回答も 32.6%あり、待機児童であるため利用できていないという声が多くみられる。



子どもの年齢別に見ると、「空きがない」という回答は、1歳児や3歳児で多く、1歳児では52.2%を占めている。

子どもの年齢別 教育・保育サービスを利用していない理由

	回答者実数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育サービスに空きがない	理由でサービスを利用できない	利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない	間等の時間帯の条件が合わない	使用したいが、延長・夜間の時間帯の条件が合わない	利用したいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
0歳児	48人	20.8% (10人)	4.2% (2人)	0.0% (0人)	10.4% (5人)	4.2% (2人)	0.0% (0人)	2.1% (1人)	60.4% (29人)	20.8% (10人)	2.1% (1人)		
1歳児	46人	23.9% (11人)	2.2% (1人)	0.0% (0人)	52.2% (24人)	4.3% (2人)	0.0% (0人)	4.3% (2人)	37.0% (17人)	6.5% (3人)	0.0% (0人)		
2歳児	13人	30.8% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	46.2% (6人)	7.7% (1人)	0.0% (0人)	7.7% (1人)	30.8% (4人)	23.1% (3人)	0.0% (0人)		
3歳児	8人	50.0% (4人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (4人)	50.0% (4人)	0.0% (0人)	25.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)		
4歳児	8人	37.5% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	50.0% (4人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)	12.5% (1人)	0.0% (0人)		
5歳児	2人	100.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)		
6歳児	0人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)		

中学校区別に見ると、「空きがない」は、桑江中学校区の方で40%近くの割合となっており、北谷中学校区の23.2%より高い。利用希望では、町立保育所を望む声が高い。また、認可外保育施設の希望が18.6%で、現在利用の21.3%より若干下がっている。

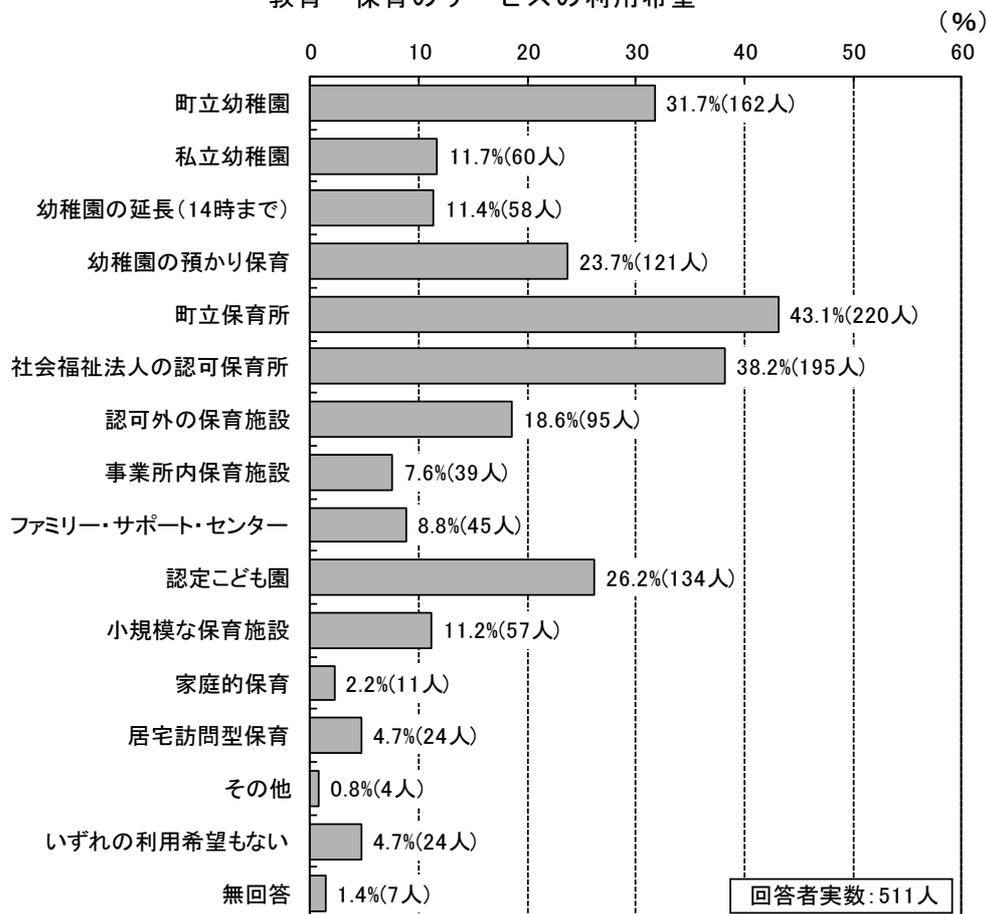
#### 中学校区別 教育・保育サービスを利用していない理由

	回答者実数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育のサービスに空きがない	理由でサービスを利用できない	利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない	間等の時間帯の条件が合わない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用できるサービスがない	利用したいが、サービスの質や場所など、納得できない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
北谷中学校区	56人	26.8% (15人)	8.9% (5人)	0.0% (0人)	23.2% (13人)	10.7% (6人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	3.6% (2人)	48.2% (27人)	12.5% (7人)	0.0% (0人)		
桑江中学校区	73人	26.0% (19人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	39.7% (29人)	9.6% (7人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	6.8% (5人)	31.5% (23人)	15.1% (11人)	2.7% (2人)		

### 5. 教育・保育のサービスの利用希望

利用希望では、町立保育所を望む声が高い。また、認可外保育施設の希望が18.6%で、現在利用の21.3%より若干下がっている。今後は、子どもの年齢との関係も見て、量の見込みを把握する必要がある。

教育・保育のサービスの利用希望



現在利用している教育・保育サービスを今後も希望する人が概ね80%以上となっているが、現在「認可外の保育施設」を利用している人で今後も認可外を希望する割合は56%と低く、認可保育所への希望が35%程度ある。

現在の教育・保育のサービス別 今後の教育・保育のサービスの利用希望

	回答者 実数	町立 幼稚園	私立 幼稚園	幼稚園 の延長 (14時まで)	幼稚園の 預かり保育	町立 保育所	社会福祉 法人の認 可保育所	認可外の 保育施設	事業所内 保育施設
町立幼稚園	51人	88.2% (45人)	7.8% (4人)	27.5% (14人)	70.6% (36人)	11.8% (6人)	2.0% (1人)	0.0% (0人)	2.0% (1人)
私立幼稚園	10人	40.0% (4人)	90.0% (9人)	30.0% (3人)	50.0% (5人)	10.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	10.0% (1人)
幼稚園の 預かり保育	23人	87.0% (20人)	13.0% (3人)	21.7% (5人)	91.3% (21人)	17.4% (4人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
町立保育所	74人	24.3% (18人)	6.8% (5人)	5.4% (4人)	21.6% (16人)	85.1% (63人)	14.9% (11人)	5.4% (4人)	6.8% (5人)
社会福祉法人 の認可保育所	97人	13.4% (13人)	4.1% (4人)	6.2% (6人)	15.5% (15人)	33.0% (32人)	93.8% (91人)	11.3% (11人)	7.2% (7人)
認定こども園	43人	25.6% (11人)	11.6% (5人)	14.0% (6人)	16.3% (7人)	14.0% (6人)	18.6% (8人)	4.7% (2人)	4.7% (2人)
小規模な 保育施設	14人	14.3% (2人)	0.0% (0人)	7.1% (1人)	14.3% (2人)	78.6% (11人)	35.7% (5人)	0.0% (0人)	7.1% (1人)
事業所内 保育施設	5人	20.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	20.0% (1人)	80.0% (4人)	60.0% (3人)	20.0% (1人)	60.0% (3人)
認可外の 保育施設	81人	24.7% (20人)	16.0% (13人)	9.9% (8人)	18.5% (15人)	35.8% (29人)	34.6% (28人)	56.8% (46人)	8.6% (7人)
ファミリー・サポ ート・センター	3人	66.7% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (1人)

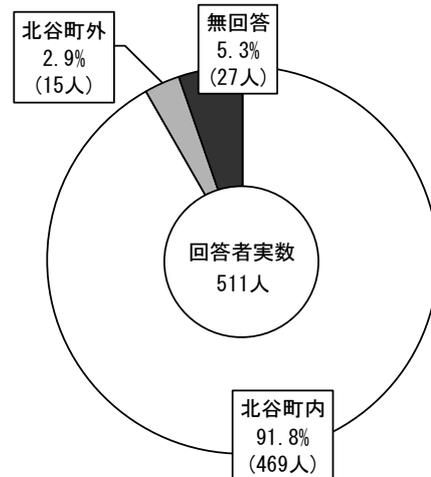
	回答者 実数	ファミリー ・サポート ・センター	認定 こども園	小規模な 保育施設	家庭的 保育	居宅訪問 型保育	その他	いずれの 利用希望 もない	無回答
町立幼稚園	51人	2.0% (1人)	7.8% (4人)	2.0% (1人)	0.0% (0人)	2.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	2.0% (1人)
私立幼稚園	10人	10.0% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
幼稚園の 預かり保育	23人	8.7% (2人)	8.7% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
町立保育所	74人	9.5% (7人)	17.6% (13人)	4.1% (3人)	2.7% (2人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	0.0% (0人)
社会福祉法人 の認可保育所	97人	10.3% (10人)	11.3% (11人)	3.1% (3人)	3.1% (3人)	7.2% (7人)	1.0% (1人)	0.0% (0人)	1.0% (1人)
認定こども園	43人	2.3% (1人)	93.0% (40人)	9.3% (4人)	0.0% (0人)	2.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
小規模な 保育施設	14人	7.1% (1人)	21.4% (3人)	57.1% (8人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
事業所内 保育施設	5人	20.0% (1人)	60.0% (3人)	40.0% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
認可外の 保育施設	81人	4.9% (4人)	23.5% (19人)	14.8% (12人)	2.5% (2人)	2.5% (2人)	0.0% (0人)	2.5% (2人)	4.9% (4人)
ファミリー・サポ ート・センター	3人	66.7% (2人)	33.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	33.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)

## 6. 利用したい教育・保育のサービスの場所

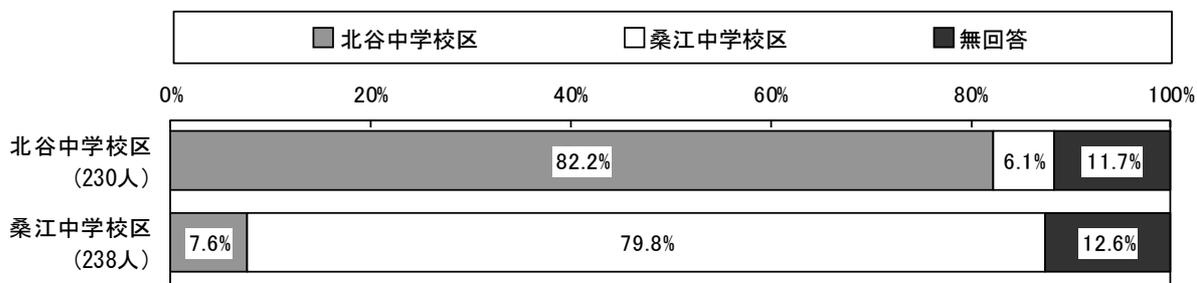
利用したい場所について見ると、「北谷町内」が91.8%、「北谷町外」が2.9%となっている。

利用したい場所と居住地区との関係を見ると、居住している地区内での教育・保育サービス利用希望がほとんどとなっており、北谷中学校区では82.2%、桑江中学校区では79.8%を占めている。

教育・保育のサービス  
を利用したい場所



中学校区別 教育・保育のサービスを利用したい場所



## 7. 教育・保育サービスの満足度

全般的に、認可外保育施設の満足度が幼稚園や認可保育所、認定こども園と比べて低くなっている。町立幼稚園は、全体的に満足度が高い中で、「食事の質・量」がほかの教育・保育施設より低くなっている。

教育・保育サービスの満足度（「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた値）

	町立幼稚園 満足度	認可保育所 満足度	認可外の保育施設 満足度	認定こども園 満足度
施設・環境（園舎・園庭、玩具など）	86.3%（44人）	85.4%（146人）	61.7%（50人）	81.4%（35人）
職員等の配置状況（人員体制）	92.2%（47人）	87.1%（149人）	70.4%（57人）	90.7%（39人）
子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）	94.1%（48人）	94.2%（161人）	86.4%（70人）	90.7%（39人）
行事（保育参観や運動会など）	90.2%（46人）	87.7%（150人）	81.5%（66人）	93.0%（40人）
食事の質	66.7%（34人）	96.5%（165人）	67.9%（55人）	93.0%（40人）
食事の量	64.7%（33人）	96.5%（165人）	72.8%（59人）	93.0%（40人）
病気やケガの時の対応	88.2%（45人）	88.9%（152人）	79.0%（64人）	88.4%（38人）
保護者への情報伝達	90.2%（46人）	86.5%（148人）	82.7%（67人）	81.4%（35人）
悩みごとなどへの相談対応	82.4%（42人）	85.4%（146人）	79.0%（64人）	83.7%（36人）
保護者の要望・意見への対応	80.4%（41人）	74.9%（128人）	67.9%（55人）	76.7%（33人）
利用者間のネットワークづくり	64.7%（33人）	60.8%（104人）	46.9%（38人）	60.5%（26人）
安全対策	82.4%（42人）	91.8%（157人）	72.8%（59人）	88.4%（38人）
衛生対策	88.2%（45人）	87.1%（149人）	76.5%（62人）	79.1%（34人）

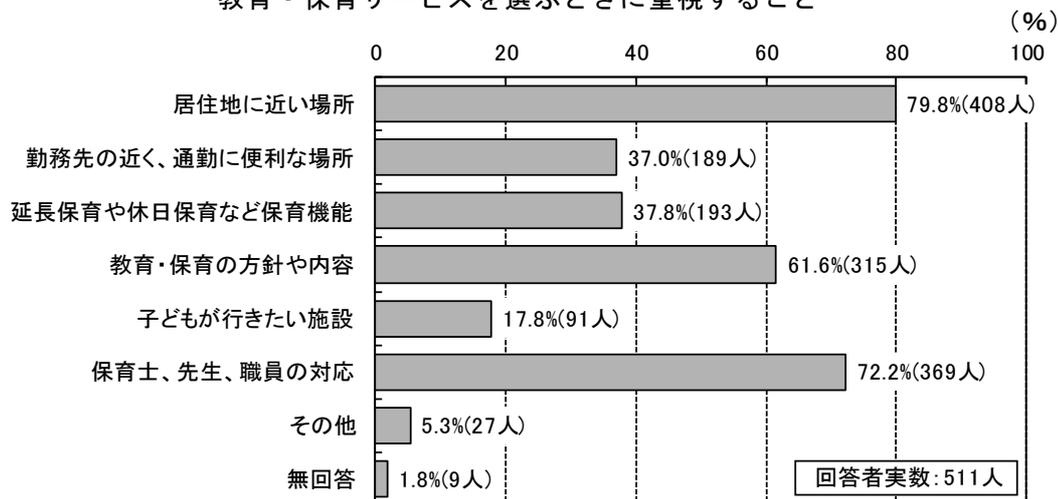
※満足度＝選択肢の「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた値

## 8. 教育・保育サービスを選ぶときに重視すること

教育・保育サービスを選ぶ際に重視することとしては、「居住地に近い場所」が非常に高く約80%を占めている。そのほか、「保育士、先生、職員の対応」が72.2%、「教育・保育の方針や内容」が61.5%と続いている。

中学校区別では、桑江中学校区の「保育士、先生、職員の対応」が75.2%とやや高い。

教育・保育サービスを選ぶときに重視すること



中学校区別 教育・保育サービスを選ぶときに重視すること

	回答者実数	居住地に近い場所	勤務先の近く、通勤に便利な場所	延長保育や休日保育など保育機能	教育・保育の方針や内容	子どもが行きたい施設	保育士、先生、職員の対応	その他	無回答
北谷中学校区	248人	81.9% (203人)	35.5% (88人)	36.3% (90人)	60.9% (151人)	19.0% (47人)	69.0% (171人)	6.9% (17人)	1.6% (4人)
桑江中学校区	262人	77.9% (204人)	38.5% (101人)	39.3% (103人)	62.2% (163人)	16.8% (44人)	75.2% (197人)	3.8% (10人)	1.9% (5人)

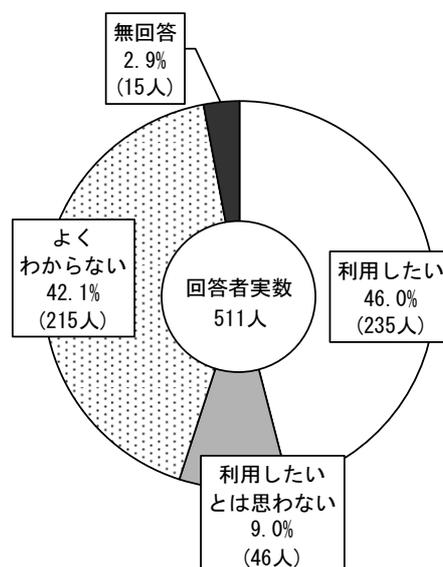
## 9. 認定こども園の利用希望

認定こども園の利用希望を尋ねたところ、「利用したい」が46.0%と半数近くを占めている。

今後は、年齢別や母親の就労状況などとの関係も見ていく。

また、「よくわからない」という回答も42.1%あり、認定こども園についての周知度や教育・保育施設の違いについて把握しきれていない人も多くなっている。

認定こども園の利用希望



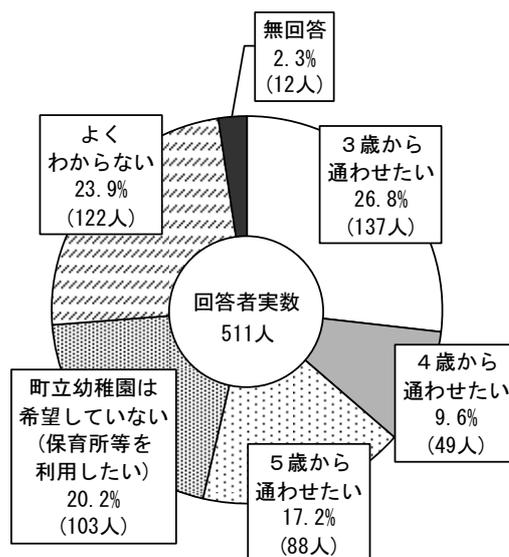
## 10. 複数年保育の幼稚園の利用意向

町立幼稚園に「3歳から通わせたい」という回答が26.8%で約30%を占めている。4歳からや5歳から通わせたいという声よりも高い。

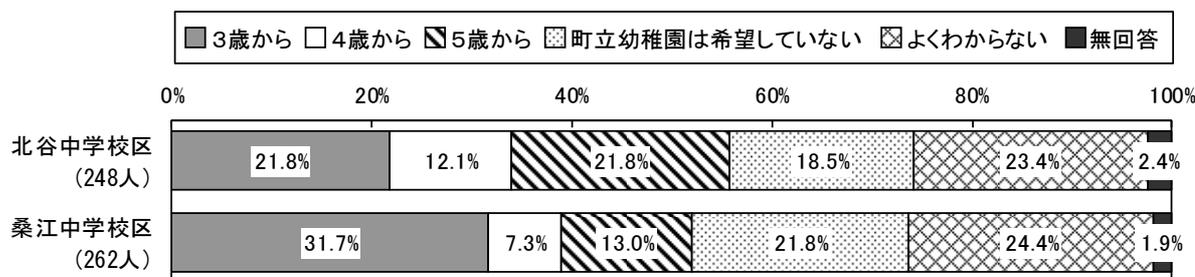
中学校区別で見ると、3歳からの利用を望む声は桑江中学校区で31.7%と北谷中学校区の21.8%を10ポイント近く上回っている。5歳からの希望は、北谷中学校区の方が高く21.8%、桑江中学校区は13.0%であった。

公立幼稚園より保育園を希望している方は、両中学校区とも2割前後となっている。

複数年保育の幼稚園の利用意向



中学校区別 複数年保育の幼稚園の利用意向



## 11. 町立幼稚園で複数年保育を利用する際の条件について

公立幼稚園を複数年保育で利用したい理由や利用する際の条件について尋ねた。

利用する際の希望条件としては、「土曜日の受け入れ」、「19時までの延長を希望」、「毎日給食にしてほしい」の3つが特に多く見られた。

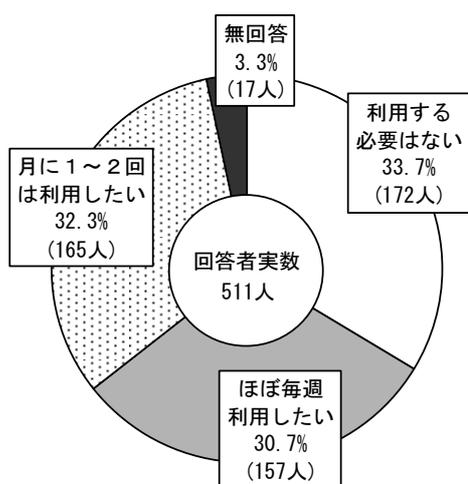
## 2 土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の教育・保育サービスの利用

### 1. 土曜日・日曜日の利用希望

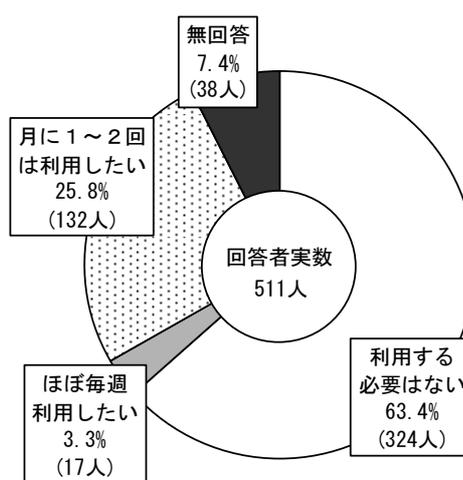
土曜日は63%、日曜・祝日は29.1%が教育保育施設を利用したいと回答している。週末の利用希望も少なくないことがわかる。

土曜日については毎週の利用希望は30%で、月数回の利用希望が32.3%、日曜日については毎週の利用希望が3.3%、月数回の利用希望が25.8%となっている。

土曜日の利用希望



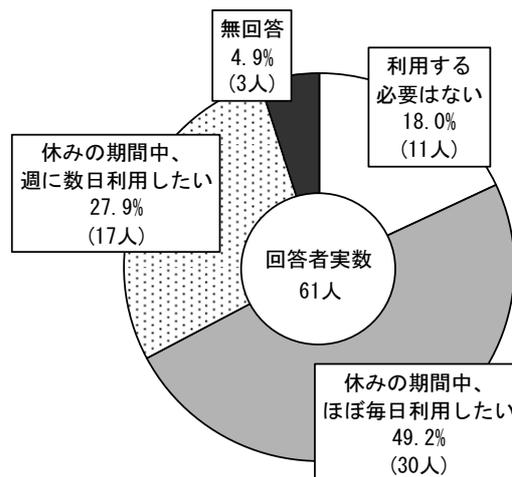
日曜・祝日の利用希望



### 2. 長期休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望

幼稚園の夏休みなど長期休暇期間における施設の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」が約50%を占めている。

長期休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望



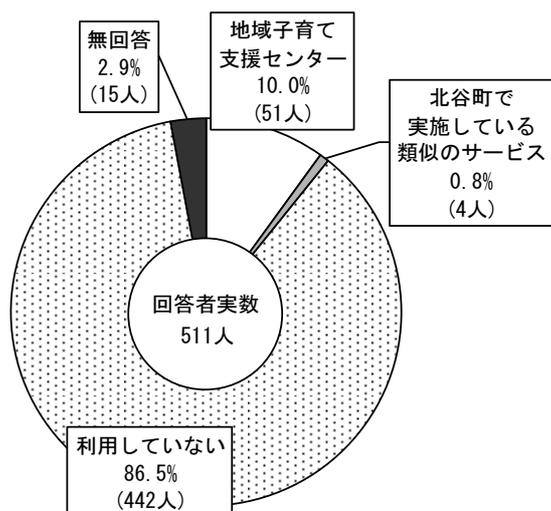
### 3 地域子育て支援センターについて

#### 1. 地域子育て支援センターの利用状況、利用希望

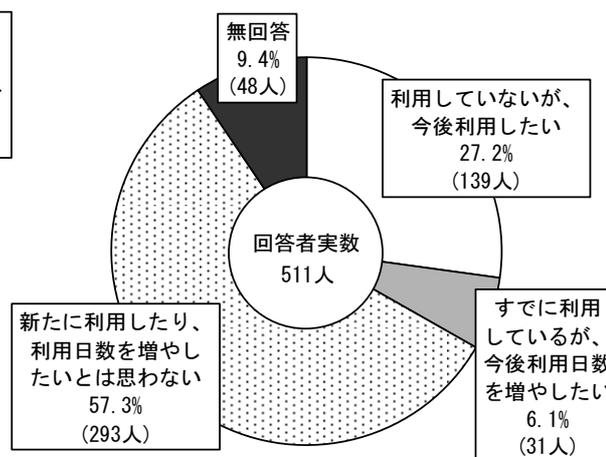
子育て支援センターの利用者は10%程度で1歳児が多い。

「現在利用していないが今後利用したい」は27.2%で、30%程度を占めている。特に0歳児では52.9%、1歳児では42.0%を占め、非常に高い。

地域子育て支援センターの利用状況



地域子育て支援センターの利用希望

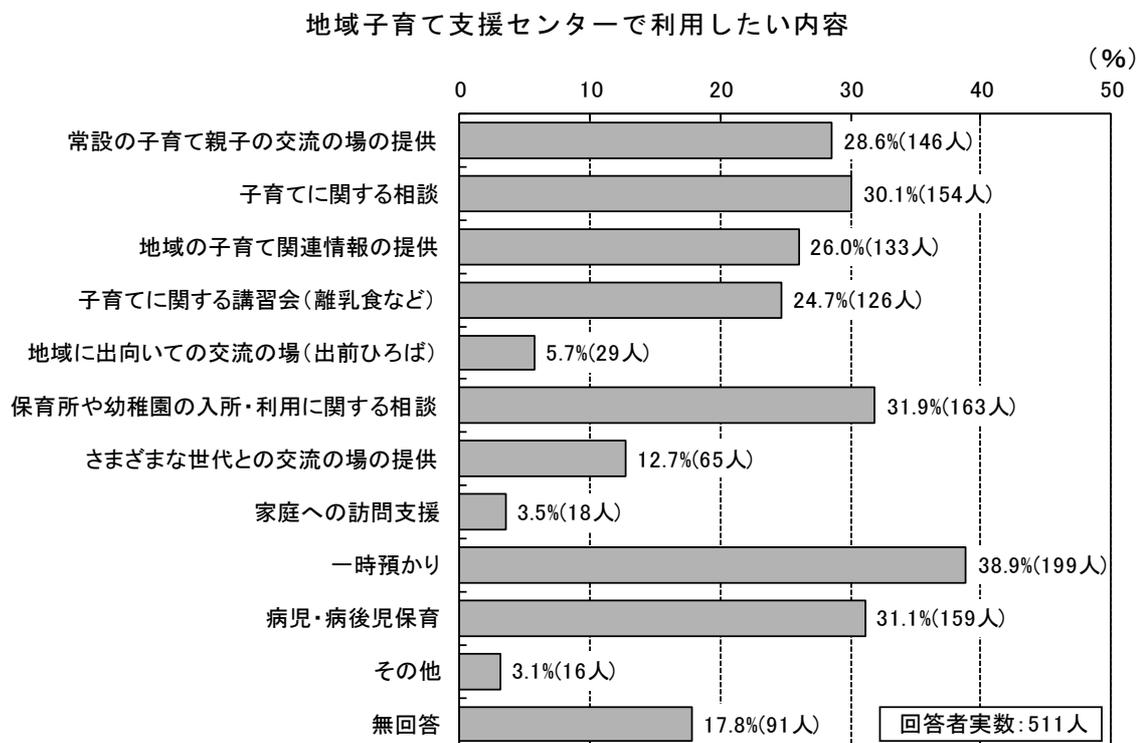


子どもの年齢別 地域子育て支援センターの利用状況、利用希望

	回答者実数	利用状況			利用希望		
		地域子育て支援センター	北谷町で実施している類似のサービス	利用していない	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
全体	511人	10.0% (51人)	0.8% (4人)	86.5% (442人)	27.2% (139人)	6.1% (31人)	57.3% (293人)
0歳児	51人	17.6% (9人)	0.0% (0人)	80.4% (41人)	52.9% (27人)	9.8% (5人)	33.3% (17人)
1歳児	81人	23.5% (19人)	2.5% (2人)	72.8% (59人)	42.0% (34人)	12.3% (10人)	32.1% (26人)
2歳児	74人	12.2% (9人)	1.4% (1人)	81.1% (60人)	20.3% (15人)	9.5% (7人)	55.4% (41人)
3歳児	72人	8.3% (6人)	0.0% (0人)	88.9% (64人)	22.2% (16人)	5.6% (4人)	59.7% (43人)
4歳児	77人	3.9% (3人)	0.0% (0人)	94.8% (73人)	22.1% (17人)	1.3% (1人)	72.7% (56人)
5歳児	76人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	96.1% (73人)	15.8% (12人)	0.0% (0人)	77.6% (59人)
6歳児	74人	5.4% (4人)	0.0% (0人)	91.9% (68人)	23.0% (17人)	4.1% (3人)	66.2% (49人)

## 2. 地域子育て支援センターで利用したい内容

地域子育て支援センターで利用したい内容について見ると、「一時預かり」が38.9%で最も高く、約40%を占めている。また、「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」(31.9%)と「病児・病後児保育」(31.1%)がそれぞれ31%、「子育てに関する相談」が30.1%であり、病児保育と子育てや保育園相談への希望が比較的高くなっている。



子どもの年齢別に見ると、「一時預かり」は各年齢とも30%を超えており、特に1歳児から3歳児で40%台と高い。「保育所や幼稚園の利用に関する相談」は、0歳児や1歳児といった低年齢児で高い傾向にあり、それぞれ0歳児で41.2%、1歳児で42.0%となっている。「病児・病後児保育」の希望は、3歳児が37.5%で最も高いほか、4歳児、5歳児で比較的高い。

また、「常設の子育て親子の交流の場の提供」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子育てに関する講習会」については、低年齢児でニーズが高い傾向にあり、特に0歳児で40%程度を占めている。

子どもの年齢別 地域子育て支援センターで利用したい内容

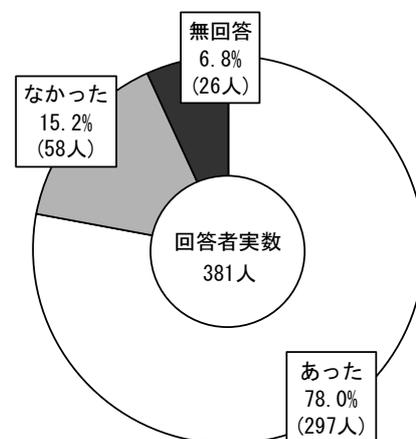
	回答者実数	常設の子育て親子の交流の場の提供	子育てに関する相談	地域の子育て関連情報の提供	子育てに関する講習会（離乳食など）	地域に出向いての交流の場（出前ひろば）	保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談	さまざまな世代との交流の場の提供	家庭への訪問支援	一時預かり	病児・病後児保育	その他	無回答
0歳児	51人	39.2% (20人)	27.5% (14人)	43.1% (22人)	43.1% (22人)	3.9% (2人)	41.2% (21人)	13.7% (7人)	5.9% (3人)	33.3% (17人)	29.4% (15人)	5.9% (3人)	9.8% (5人)
1歳児	81人	27.2% (22人)	29.6% (24人)	27.2% (22人)	39.5% (32人)	9.9% (8人)	42.0% (34人)	13.6% (11人)	2.5% (2人)	43.2% (35人)	32.1% (26人)	1.2% (1人)	11.1% (9人)
2歳児	74人	36.5% (27人)	37.8% (28人)	29.7% (22人)	32.4% (24人)	8.1% (6人)	35.1% (26人)	17.6% (13人)	6.8% (5人)	47.3% (35人)	28.4% (21人)	4.1% (3人)	17.6% (13人)
3歳児	72人	30.6% (22人)	34.7% (25人)	23.6% (17人)	18.1% (13人)	1.4% (1人)	31.9% (23人)	11.1% (8人)	2.8% (2人)	40.3% (29人)	37.5% (27人)	0.0% (0人)	16.7% (12人)
4歳児	77人	24.7% (19人)	28.6% (22人)	24.7% (19人)	16.9% (13人)	3.9% (3人)	32.5% (25人)	14.3% (11人)	3.9% (3人)	39.0% (30人)	33.8% (26人)	5.2% (4人)	14.3% (11人)
5歳児	76人	23.7% (18人)	26.3% (20人)	22.4% (17人)	11.8% (9人)	5.3% (4人)	21.1% (16人)	9.2% (7人)	1.3% (1人)	30.3% (23人)	34.2% (26人)	1.3% (1人)	28.9% (22人)
6歳児	74人	23.0% (17人)	24.3% (18人)	17.6% (13人)	17.6% (13人)	5.4% (4人)	23.0% (17人)	10.8% (8人)	2.7% (2人)	35.1% (26人)	23.0% (17人)	5.4% (4人)	24.3% (18人)

## 4 病児・病後児保育について

### 1. 子どもの病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったこと

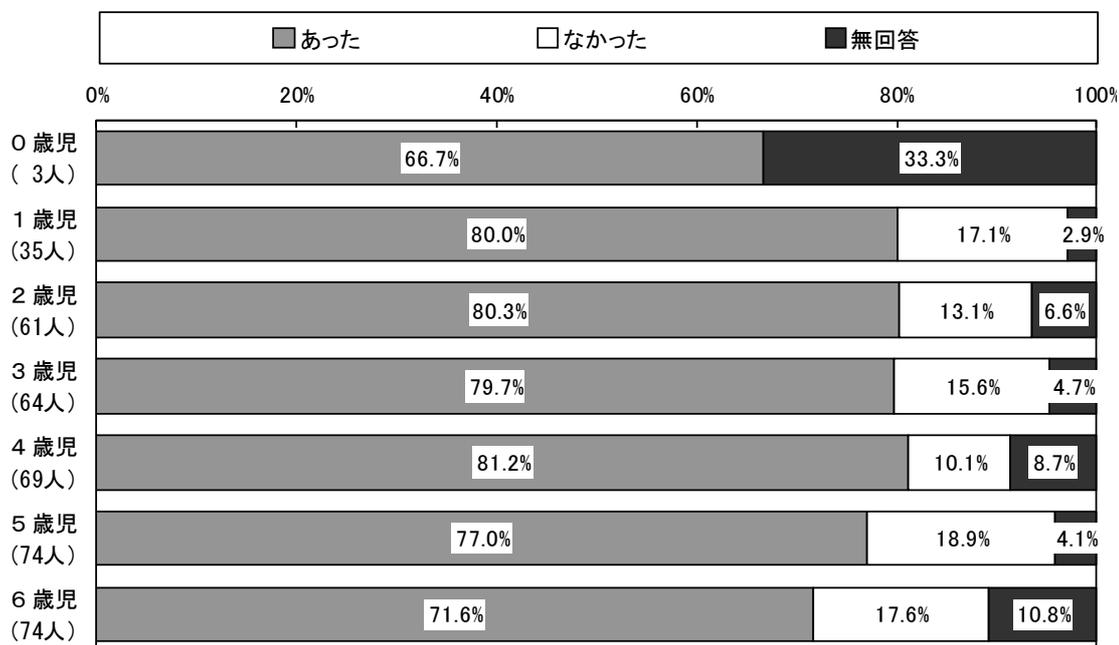
子どもが通常、教育・保育施設等を利用している場合に、子どもの病気やケガで預けることができなかったことの有無を尋ねた(この一年間において)。

「あった」という回答は 78.0%、「なかった」は 15.2%であり、病気等を理由に預けられない場合が非常に高くなっている。



年齢別に見ると、「あった」という回答は、1歳児から5歳児までそれぞれ8割前後を占めている。また、6歳児では71.6%となり、やや割合が下がる。

#### 子どもの年齢別 子どもの病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったこと

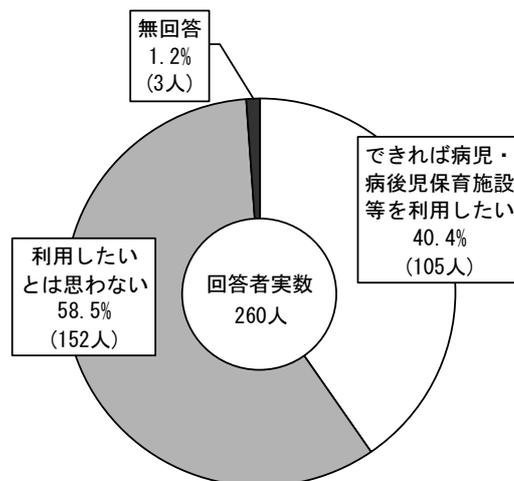


## 2. 病児・病後児保育の利用希望

病児・病後児保育の利用希望について見ると、利用希望は40.4%となっている。

希望する日数は、1年間に「5日」が23.8%、「10日」が21.0%であり、これら2つがやや高くなっている。また、「1日」から「4日」までの回答割合は30.5%にあたり、これに「5日」の割合を合わせると、54.3%が5日までの利用希望となる。

病児・病後児保育の利用希望



病児・病後児保育の利用希望日数

回答者実数	100.0% (105人)	8日	1.9% (2人)
1日	6.7% (7人)	10日	21.0% (22人)
2日	5.7% (6人)	12日	1.0% (1人)
3日	14.3% (15人)	15日	1.0% (1人)
4日	3.8% (4人)	20日	2.9% (3人)
5日	23.8% (25人)	24日	1.0% (1人)
6日	2.9% (3人)	30日	1.9% (2人)
7日	2.9% (3人)	無回答	9.5% (10人)

## 5 一時預かりについて

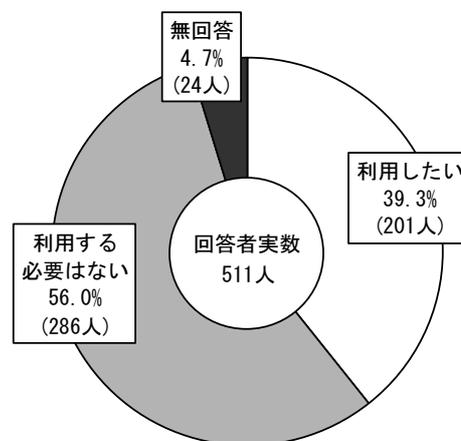
### 1. 一時預かりの利用意向・利用目的

一時預かりを利用したいという声は 39.3%で約4割を占めている。

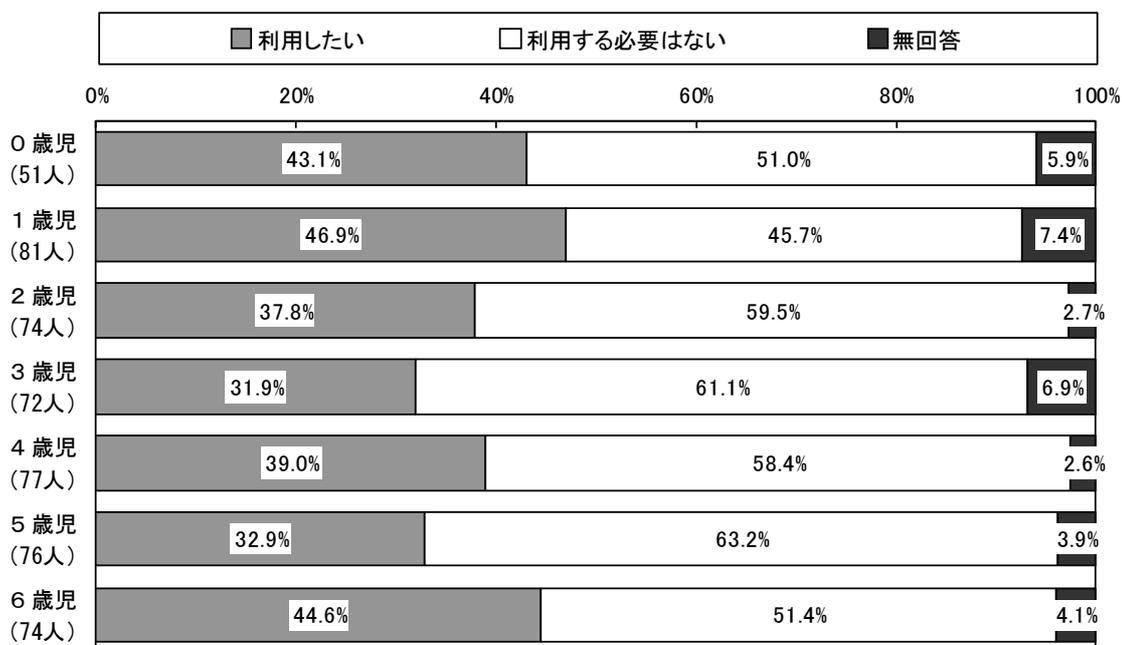
子どもの年齢別に見ると、1歳児が46.9%で最も高く、0歳児、6歳児も4割を超えている。

利用目的では、「私用やリフレッシュ目的」が72.6%を占めており最も高い。また、「冠婚葬祭、学校行事、親の通院」も約60%あり、リフレッシュや様々な用事を済ませるために求められている。時々利用できる受け入れ体制も必要となっている。

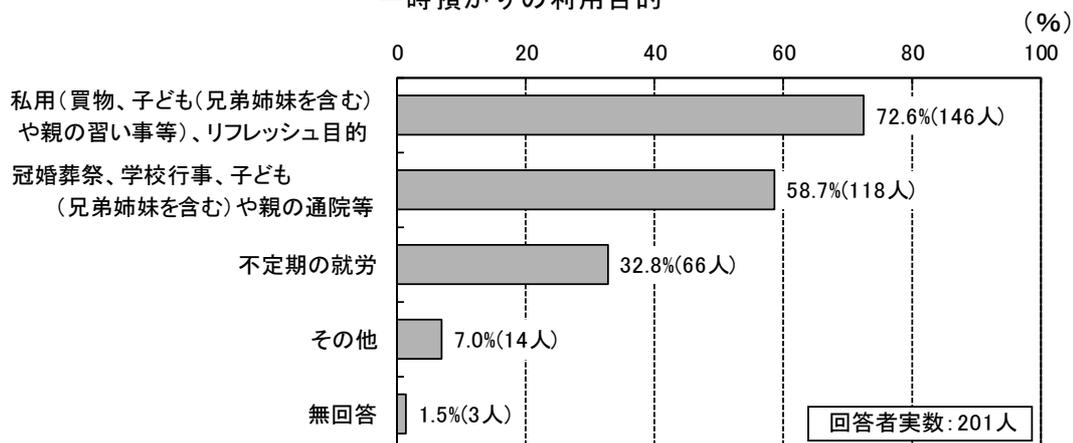
一時預かりの利用意向



子どもの年齢別 一時預かりの利用意向



一時預かりの利用目的

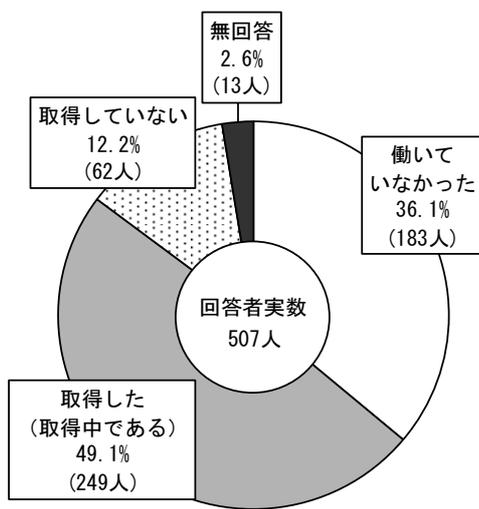


## 6 育児休業等について

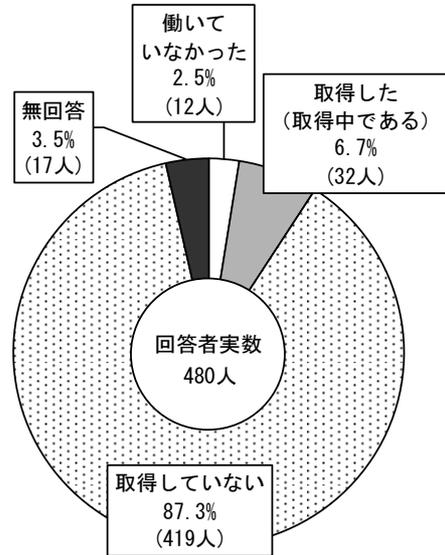
### 1. 育児休業の取得状況

育児休業を取得した割合は、母親では約50%、父親では6.7%となっている。

育児休業の取得状況（母親）



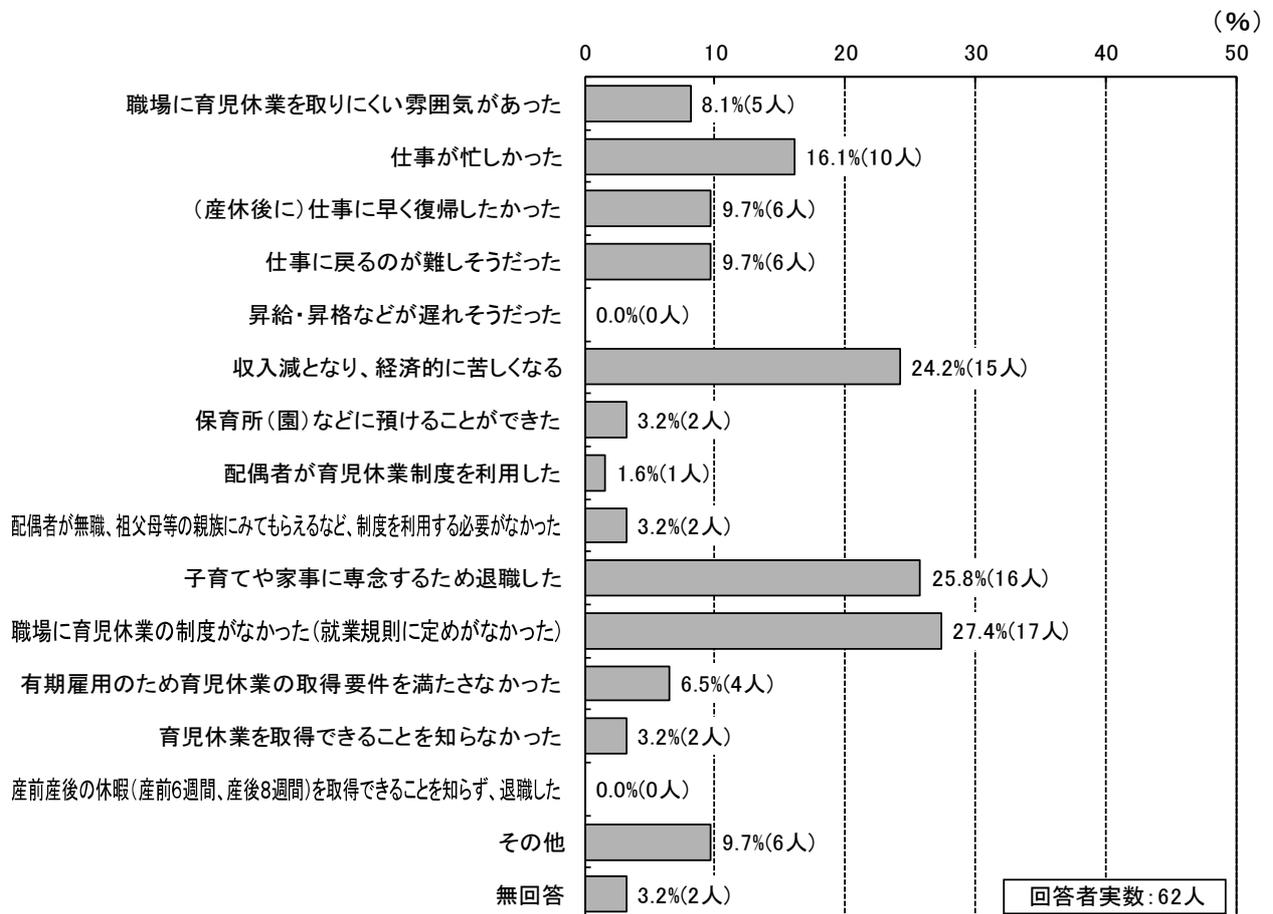
育児休業の取得状況（父親）



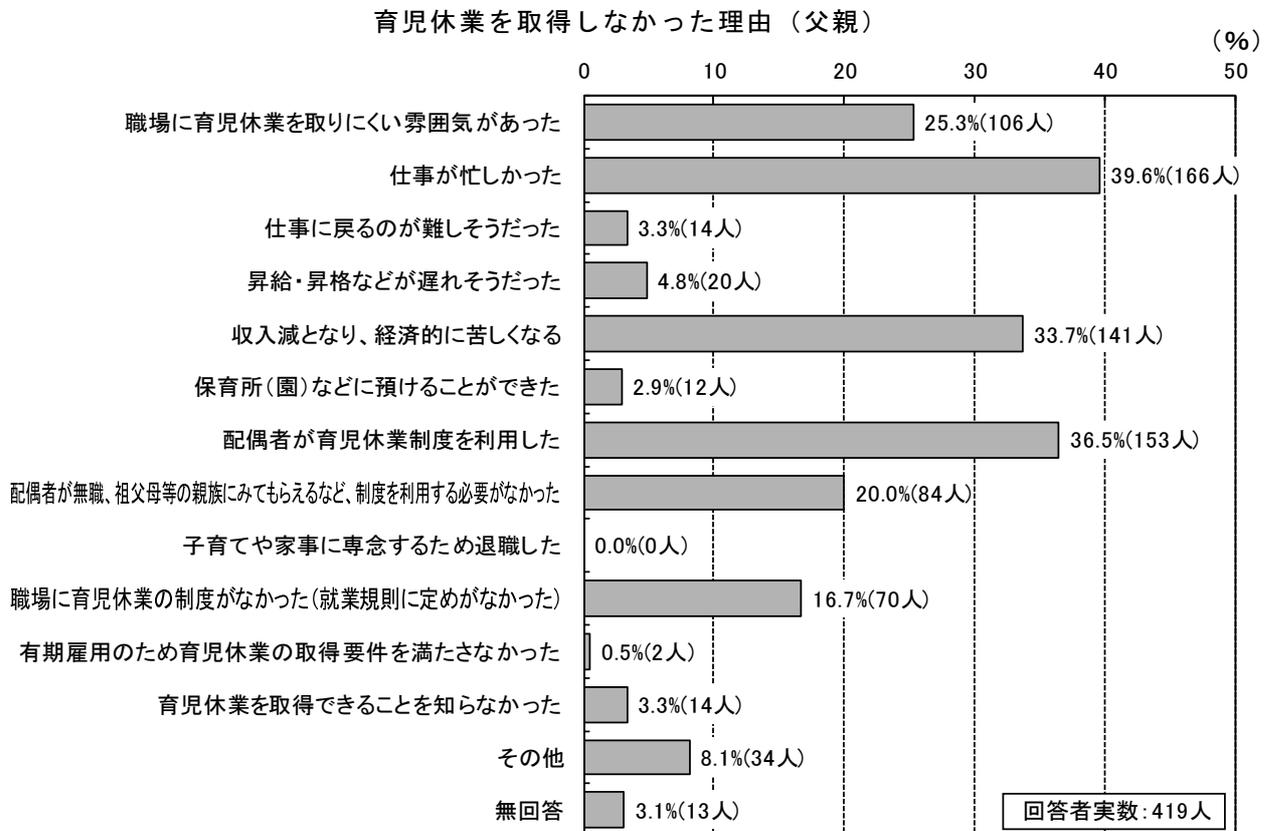
## 2. 育児休業を取得しなかった理由

育児休業を取得していない理由としては、母親では「職場に育児休業制度がなかった」が27.4%で最も高く、「子育てに専念するため退職した」と「収入減となり経済的に苦しくなる」がそれぞれ25%程度であり、これら3項目がほかの理由に比べて高い。

育児休業を取得しなかった理由（母親）



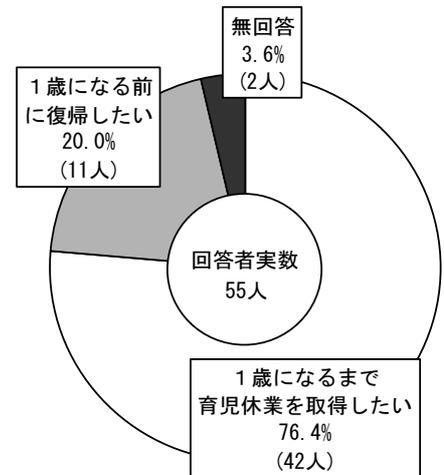
父親では、「仕事が忙しかった」が約 40%で最も高い。また「配偶者が育児休業制度を利用した」や「収入減となり経済的に苦しくなる」がそれぞれ約 35%程度あり、これら3項目がほかの理由に比べて高くなっている。



### 3. 1歳になるまで育児休業を取得したいか

子どもが1歳になるまで育児休業を取得したいという回答が76.4%と圧倒的に高くなっている。

1歳になるまで育児休業を取得したいか（母親）

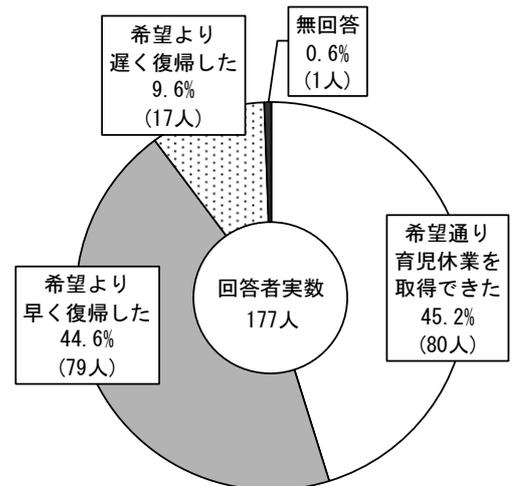


### 4. 育児休業の取得期間と希望取得期間の違い

育児休業を希望通りの期間取得できたという回答は45.2%となっている。

「希望より早く復帰した」が44.6%で4割を超えている。

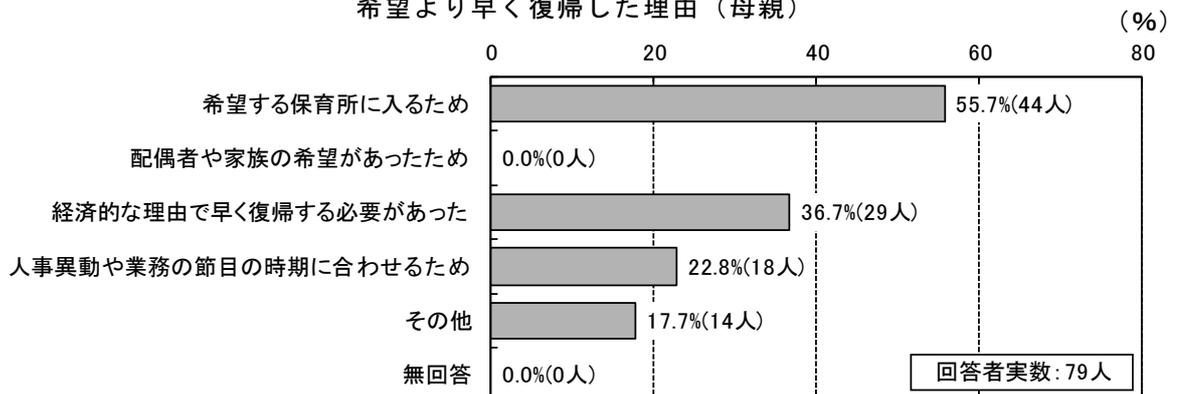
育児休業の取得期間と希望取得期間の違い（母親）



### 5. 希望より早く復帰した理由

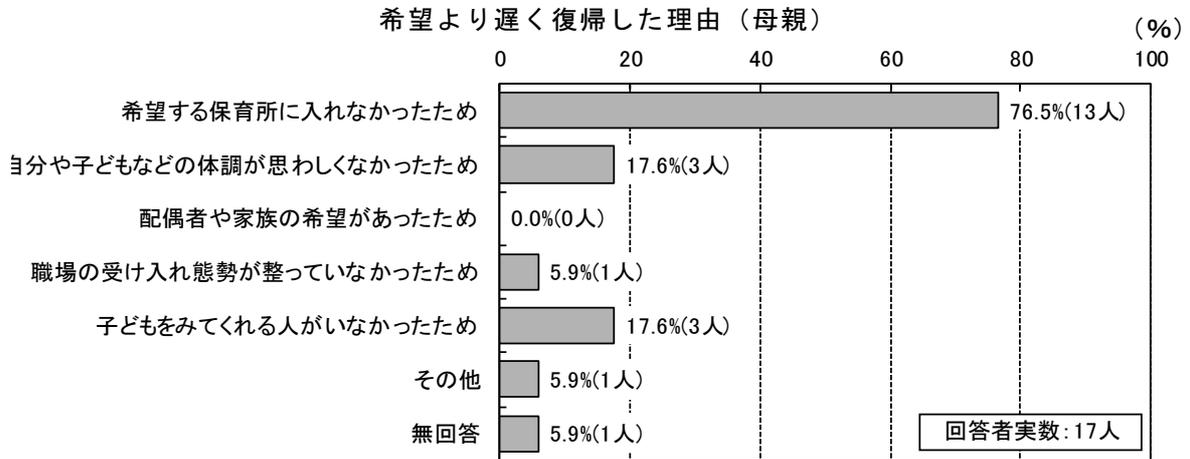
希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が55.7%で大半を占めている。

希望より早く復帰した理由（母親）



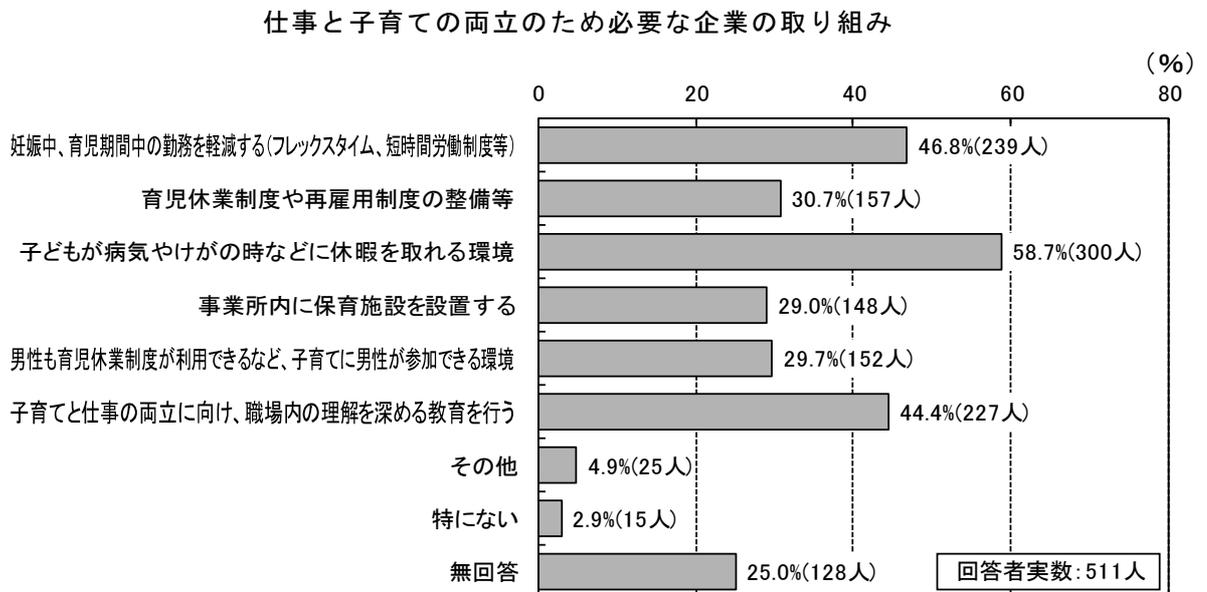
## 6. 希望より遅く復帰した理由

希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が76.5%で圧倒的に高い。前述の育休から早く復帰した理由と合わせて見ると、育休の復帰時期を早めたり遅くしたりしている大きな理由には、“保育所入所”が影響していることがわかる。



## 7. 仕事と子育ての両立のため必要な企業の取り組み

仕事と子育ての両立のため必要な企業の取り組みについて尋ねると、「子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境」が58.7%で最も高く、「妊娠中、育児期間中の勤務を軽減する」(46.8%)、「子育てと仕事の両立に向け、職場の理解を深める教育を行う」(44.4%)が次いで高くなっている。



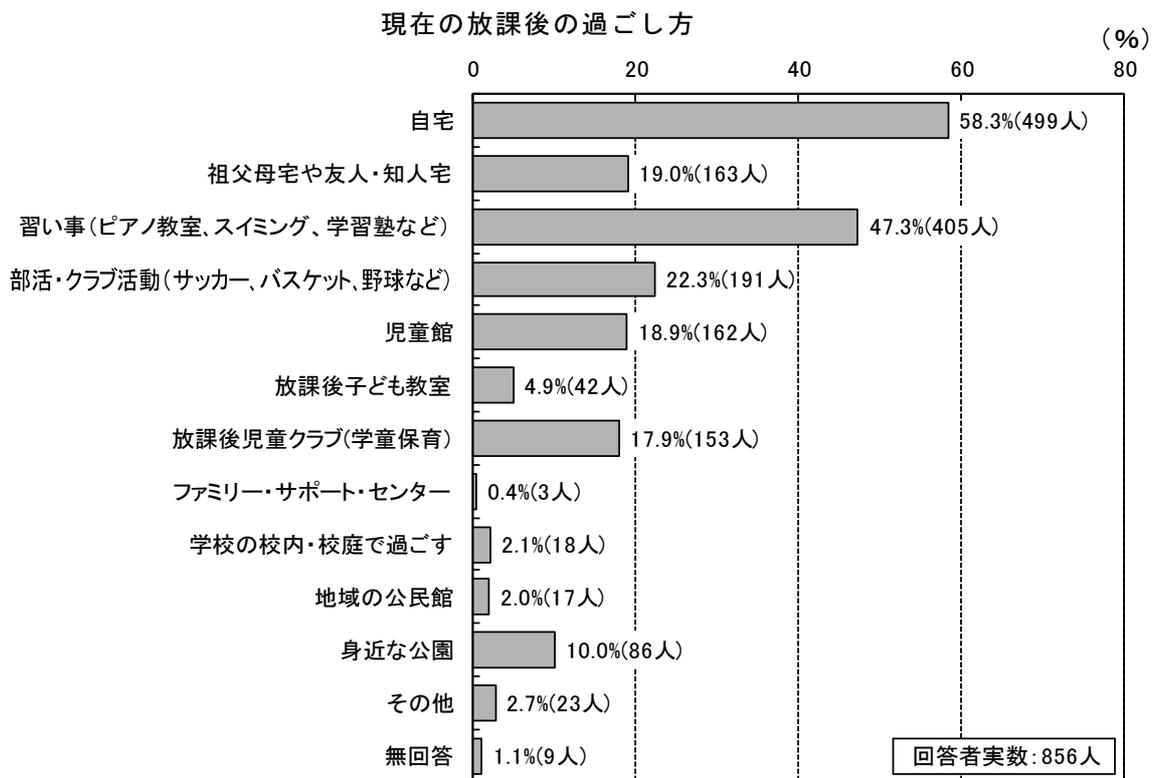
## ■ 小学生保護者調査より（放課後の過ごし方、学童クラブ、児童館）

### 1 放課後の過ごし方について

#### 1. 現在の放課後の過ごし方

小学生の放課後の過ごし方では、「自宅」(58.3%)のほか、「習い事」(47.3%)が非常に高くなっている。

「部活・クラブ活動」(22.3%)、「児童館」(18.9%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(17.9%)はそれぞれ20%程度となっている。



子どもの学年別に見ると、「自宅」は3年生以上で6割程度となり、6年生では85%を占めている。「習い事」は2年生以上で50%程度を占めている。「部活」は3年生以上で増え始め、30%前後の割合となっている。「放課後児童クラブ」は、1年生が40%で最も高く、学年が上がるとともに減少し、3年生では20%弱、4年生以上では10%未満となる。

子どもの学年別 現在の放課後の過ごし方

	回答者 実数	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ教室、 スイミング、 学習塾など)	部活・ クラブ活動 (サッカー、 バスケット、 野球など)	児童館	放課後 子ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)
1年生	155人	40.0% (62人)	14.2% (22人)	37.4% (58人)	4.5% (7人)	20.6% (32人)	5.2% (8人)	40.6% (63人)
2年生	165人	47.9% (79人)	17.0% (28人)	49.7% (82人)	19.4% (32人)	29.1% (48人)	3.0% (5人)	24.8% (41人)
3年生	152人	59.9% (91人)	21.7% (33人)	50.7% (77人)	28.3% (43人)	12.5% (19人)	8.6% (13人)	19.1% (29人)
4年生	129人	62.8% (81人)	28.7% (37人)	53.5% (69人)	34.1% (44人)	30.2% (39人)	2.3% (3人)	6.2% (8人)
5年生	126人	62.7% (79人)	15.1% (19人)	48.4% (61人)	25.4% (32人)	15.1% (19人)	3.2% (4人)	5.6% (7人)
6年生	119人	85.7% (102人)	19.3% (23人)	46.2% (55人)	27.7% (33人)	4.2% (5人)	6.7% (8人)	2.5% (3人)

	回答者 実数	ファミリー ・サポート ・センター	学校の校 内・校庭 で過ごす	地域の 公民館	身近な公園	その他	無回答
1年生	155人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	1.3% (2人)	7.7% (12人)	1.9% (3人)	0.6% (1人)
2年生	165人	0.6% (1人)	2.4% (4人)	2.4% (4人)	10.3% (17人)	1.8% (3人)	0.6% (1人)
3年生	152人	0.0% (0人)	2.6% (4人)	2.0% (3人)	9.9% (15人)	2.0% (3人)	0.7% (1人)
4年生	129人	0.8% (1人)	3.1% (4人)	1.6% (2人)	9.3% (12人)	3.9% (5人)	1.6% (2人)
5年生	126人	0.0% (0人)	1.6% (2人)	2.4% (3人)	11.9% (15人)	2.4% (3人)	2.4% (3人)
6年生	119人	0.8% (1人)	2.5% (3人)	2.5% (3人)	11.8% (14人)	4.2% (5人)	0.0% (0人)

放課後の過ごし方を中学校区別に見ると、桑江中学校区に比べて北谷中学校区の方で、「部活・クラブ活動」(28.1%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(22.6%)がやや高くなっている。

#### 中学校区別 現在の放課後の過ごし方

	回答者 実数	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ教室、 スイミング、 学習塾など)	部活・ クラブ活動 (サッカー、 バスケット、 野球など)	児童館	放課後 子ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)
北谷 中学校区	430人	57.4% (247人)	22.6% (97人)	47.0% (202人)	28.1% (121人)	18.1% (78人)	5.8% (25人)	17.9% (77人)
桑江 中学校区	426人	59.2% (252人)	15.5% (66人)	47.7% (203人)	16.4% (70人)	19.7% (84人)	4.0% (17人)	17.8% (76人)

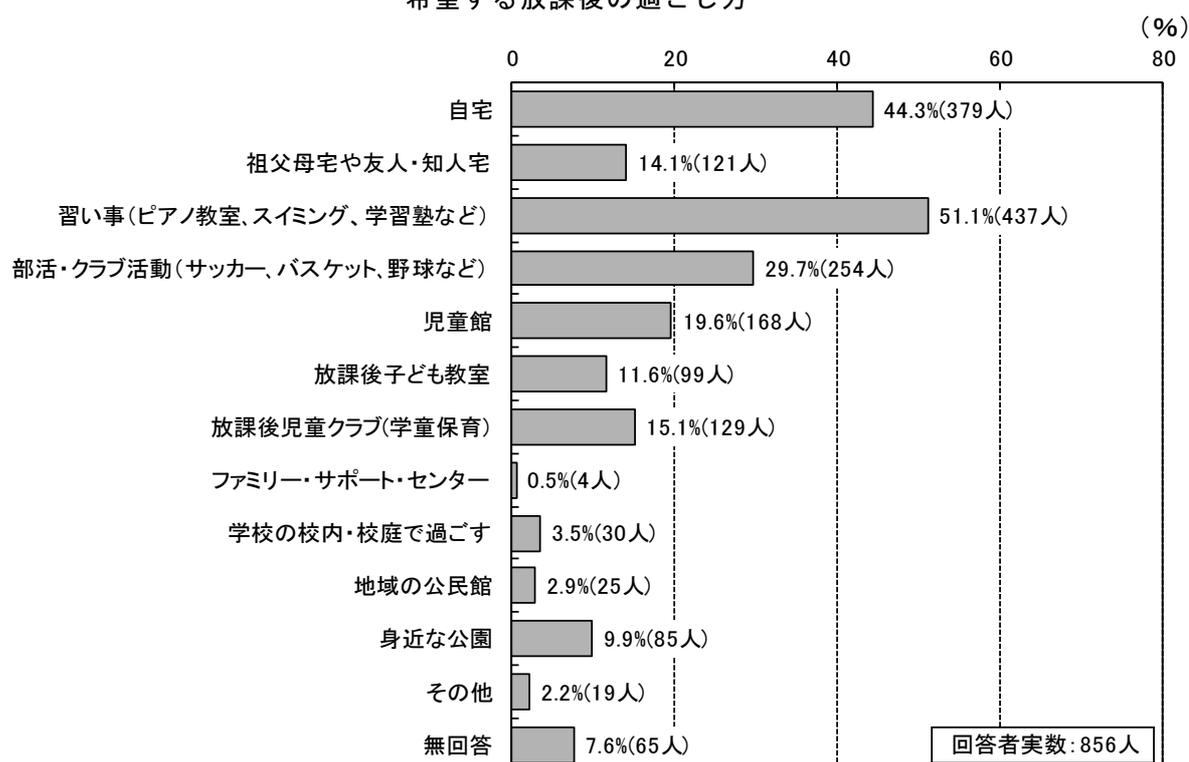
	回答者 実数	ファミリー ・サポート ・センター	学校の校 内・校庭 で過ごす	地域の 公民館	身近な公園	その他	無回答
北谷 中学校区	430人	0.7% (3人)	2.3% (10人)	2.6% (11人)	8.8% (38人)	2.8% (12人)	1.4% (6人)
桑江 中学校区	426人	0.0% (0人)	1.9% (8人)	1.4% (6人)	11.3% (48人)	2.6% (11人)	0.7% (3人)

## 2. 希望する放課後の過ごし方

小学生の放課後の過ごし方では、「自宅」(44.3%)よりも「習い事」(51.1%)の方が高くなっている。「部活・クラブ活動」は29.7%で、30%程度を占めている。

「児童館」(19.6%)や「放課後児童クラブ」(15.1%)は現在の利用状況と大きな差はない。

#### 希望する放課後の過ごし方



子どもの学年別に見ると、「自宅」の希望割合は現状より下がり、2年生から5年生まで40%台となり、6年生では64.7%にとどまる。「習い事」の希望は1年生から50%程度を占めている。「部活」の希望は2年生から30%近くを占めており、4年生は41%と最も高い。「放課後児童クラブ」は、1年生が32.9%で最も高く、学年が上がるとともに減少し、3年生では15.8%、4年生以上では5%程度となる。

#### 子どもの学年別 希望する放課後の過ごし方

	回答者 実数	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ教室、 スイミング、 学習塾など)	部活・ クラブ活動 (サッカー、 バスケット、 野球など)	児童館	放課後 子ども教室	放課後児 童クラブ (学童保育)
1年生	155人	32.9% (51人)	10.3% (16人)	49.7% (77人)	14.8% (23人)	26.5% (41人)	11.6% (18人)	32.9% (51人)
2年生	165人	41.2% (68人)	12.7% (21人)	50.9% (84人)	27.9% (46人)	28.5% (47人)	10.9% (18人)	21.2% (35人)
3年生	152人	43.4% (66人)	13.2% (20人)	52.0% (79人)	32.2% (49人)	13.8% (21人)	14.5% (22人)	15.8% (24人)
4年生	129人	41.9% (54人)	23.3% (30人)	53.5% (69人)	41.1% (53人)	27.9% (36人)	14.0% (18人)	5.4% (7人)
5年生	126人	47.6% (60人)	11.1% (14人)	54.8% (69人)	28.6% (36人)	11.1% (14人)	7.1% (9人)	5.6% (7人)
6年生	119人	64.7% (77人)	16.0% (19人)	44.5% (53人)	35.3% (42人)	7.6% (9人)	10.1% (12人)	3.4% (4人)

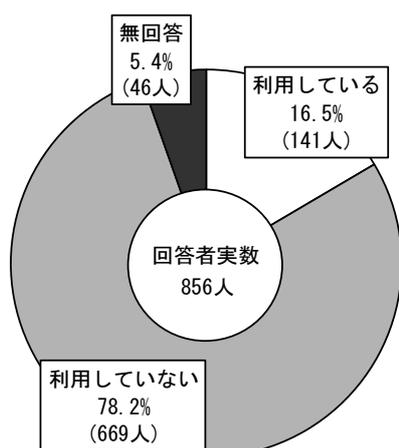
	回答者 実数	ファミリー ・サポート ・センター	学校の校 内・校庭 で過ごす	地域の 公民館	身近な公園	その他	無回答
1年生	155人	0.0% (0人)	0.6% (1人)	1.9% (3人)	5.8% (9人)	1.9% (3人)	4.5% (7人)
2年生	165人	0.6% (1人)	3.6% (6人)	4.2% (7人)	10.3% (17人)	1.2% (2人)	6.1% (10人)
3年生	152人	0.0% (0人)	3.3% (5人)	2.0% (3人)	9.9% (15人)	2.6% (4人)	7.2% (11人)
4年生	129人	0.8% (1人)	7.0% (9人)	3.1% (4人)	10.1% (13人)	2.3% (3人)	7.8% (10人)
5年生	126人	0.0% (0人)	4.8% (6人)	3.2% (4人)	11.9% (15人)	2.4% (3人)	14.3% (18人)
6年生	119人	1.7% (2人)	2.5% (3人)	3.4% (4人)	12.6% (15人)	3.4% (4人)	6.7% (8人)

## 2 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

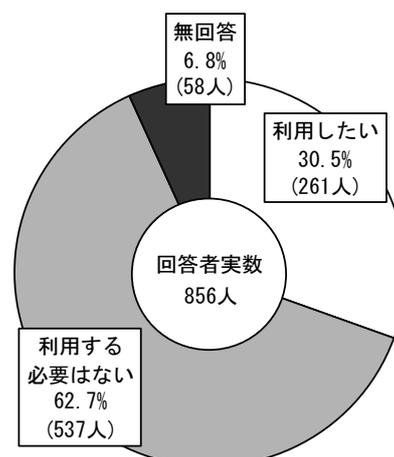
### 1. 放課後児童クラブ(学童保育)の現在の利用状況と利用希望

放課後児童クラブの利用は16.5%、利用希望は30.5%となっている。

放課後児童クラブ(学童保育)の  
現在の利用状況



放課後児童クラブ(学童保育)の  
利用希望



子どもの学年別に見ると、「利用している」という回答は1年生が36.8%で最も高く、2年生は23.0%、3年生からは17.1%と20%未満に減少する。

利用希望を見ると、1年生では51.6%を占めているほか、2年生で40%、3年生でも30%を占めている。4年生以上の高学年では20%以下であるものの、15%~17%の希望が見られる。

子どもの学年別 放課後児童クラブ(学童保育)の現在の利用状況と利用希望

現在	回答者実数	利用している	利用していない	希望	回答者実数	利用したい	利用する必要はない
1年生	155人	36.8% (57人)	58.7% (91人)	1年生	155人	51.6% (80人)	40.0% (62人)
2年生	165人	23.0% (38人)	70.9% (117人)	2年生	165人	40.0% (66人)	52.1% (86人)
3年生	152人	17.1% (26人)	77.6% (118人)	3年生	152人	30.3% (46人)	65.1% (99人)
4年生	129人	7.0% (9人)	89.1% (115人)	4年生	129人	17.8% (23人)	74.4% (96人)
5年生	126人	4.8% (6人)	88.9% (112人)	5年生	126人	15.9% (20人)	78.6% (99人)
6年生	119人	2.5% (3人)	91.6% (109人)	6年生	119人	17.6% (21人)	75.6% (90人)

小学校区別に見ると、「利用している」という回答は北玉小学校区でやや低いものの、各小学校区とも10%台であり、浜川小学校の19.9%が最も高い。

利用希望では、北谷小学校と浜川小学校が30%を超えており高くなっている。北谷第二小学校も29.7%で約30%、北玉小学校は24.9%で4校区の中で最も低い。

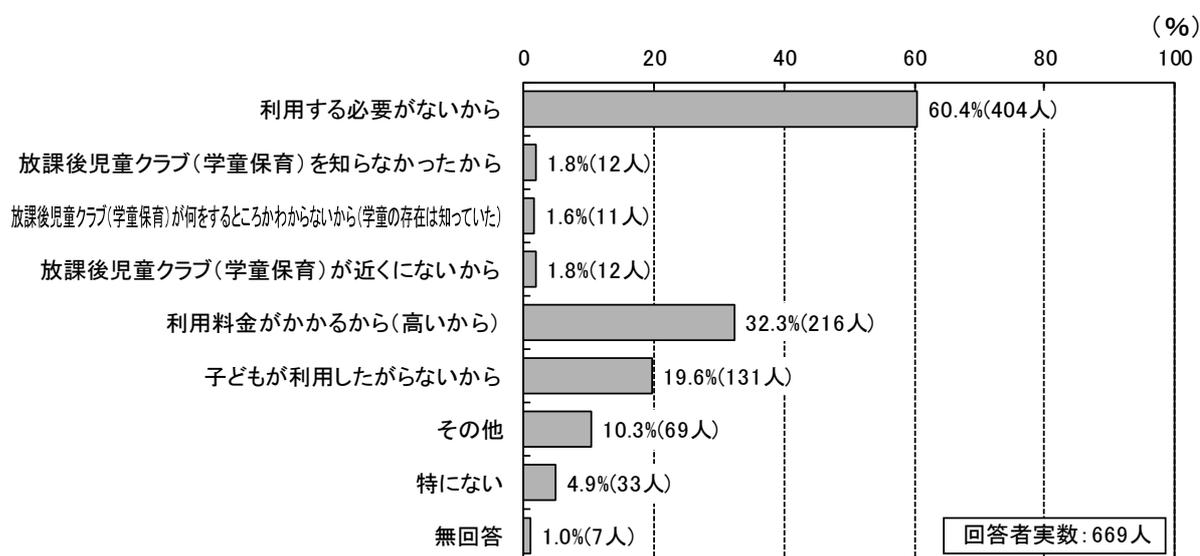
小学校区別 放課後児童クラブ(学童保育)の現在の利用状況と利用希望

現在	回答者実数	利用している	利用していない	希望	回答者実数	利用したい	利用する必要はない
北谷小学校	151人	15.2% (23人)	78.8% (119人)	北谷小学校	151人	32.5% (49人)	64.9% (98人)
北谷第二小学校	279人	17.6% (49人)	77.4% (216人)	北谷第二小学校	279人	29.7% (83人)	63.1% (176人)
北玉小学校	185人	11.4% (21人)	83.8% (155人)	北玉小学校	185人	24.9% (46人)	66.5% (123人)
浜川小学校	241人	19.9% (48人)	74.3% (179人)	浜川小学校	241人	34.4% (83人)	58.1% (140人)

## 2. 放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由

学童クラブを利用していない理由では、「利用料金がかかるから(高いから)」が32.3%を占めている。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由



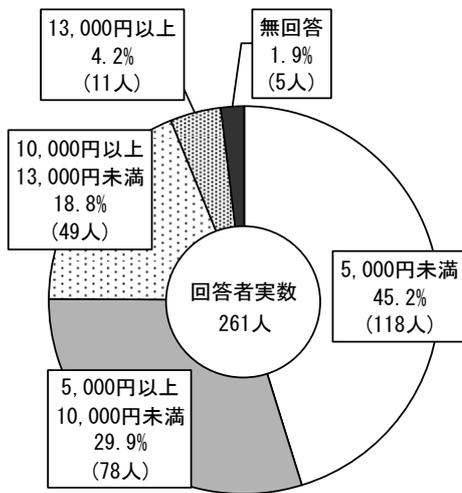
### 3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用料の希望

放課後児童クラブの利用料の希望を尋ねた。「5,000円未満」が45.2%で最も高くなっている。これに次いで「5,000円以上10,000円未満」が29.9%と約30%となっている。

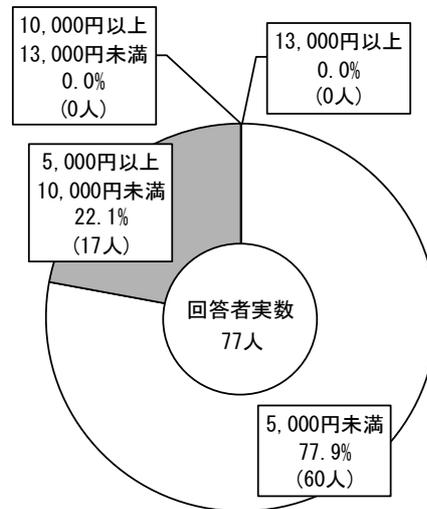
前ページの「2. 学童クラブを利用していない理由」で「利用料金がかかるから(高いから)」と回答した人の希望料金を見ると、5,000円未満が77.9%で約8割を占めている。

利用料金を理由に学童クラブを利用していない人では、全体に比べてより低額が求められていることがわかる。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用料の希望

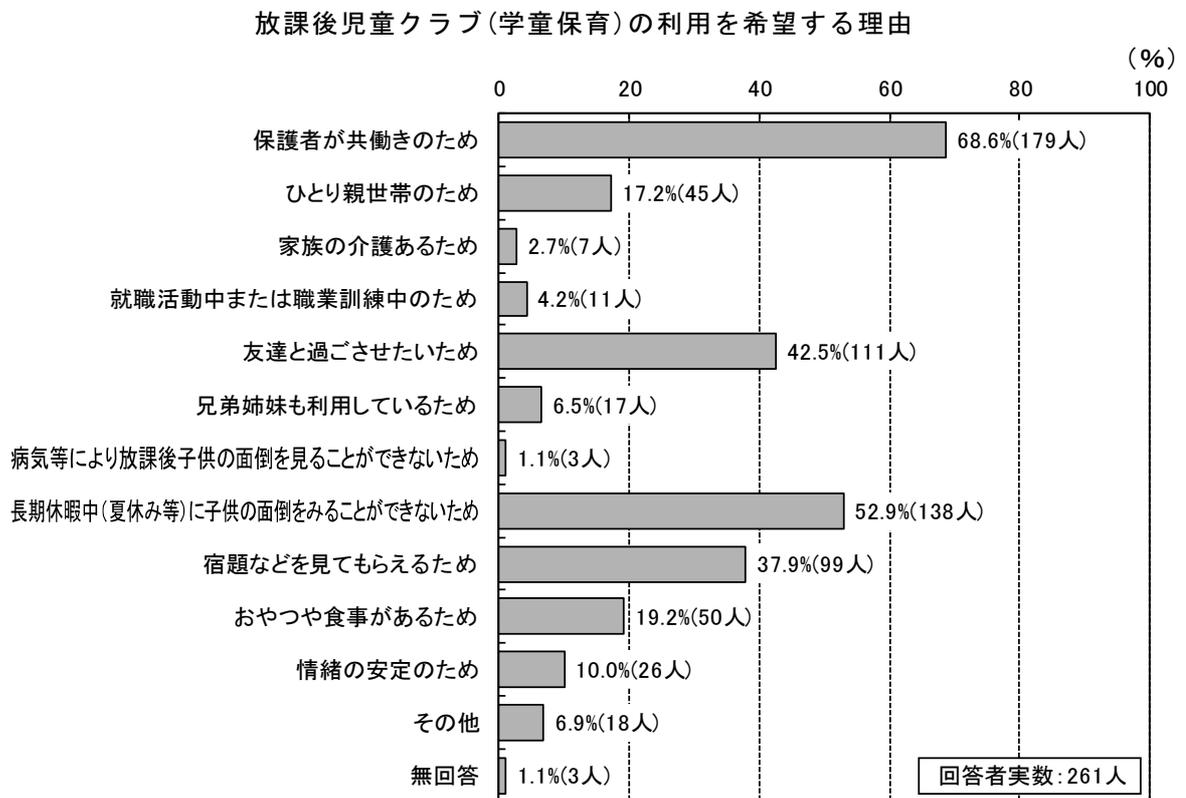


放課後児童クラブ(学童保育)の利用料の希望  
(利用料金がかかるから)



#### 4. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用を希望する理由

放課後児童クラブを利用希望する理由を尋ねたところ、「保護者が共働きのため」が68.6%で最も高いほか、「長期休暇中(夏休み等)に子どもの面倒を見ることができないため」(52.9%)が次いで高くなっている。また、「友達と過ごさせたいため」(42.5%)、「宿題などを見てもらえるため」(37.9%)も比較的高い。



### 3 児童館の利用について

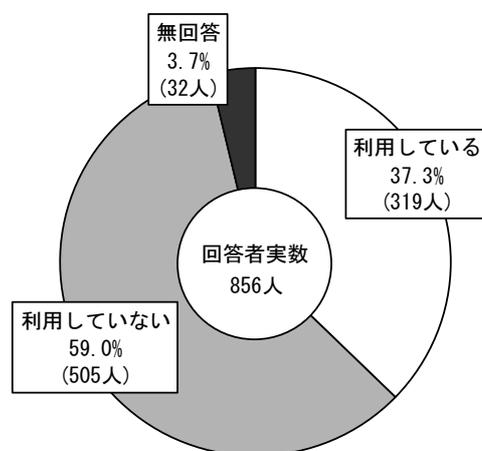
#### 1. 児童館の利用状況

児童館を利用している割合は37.3%となっている。

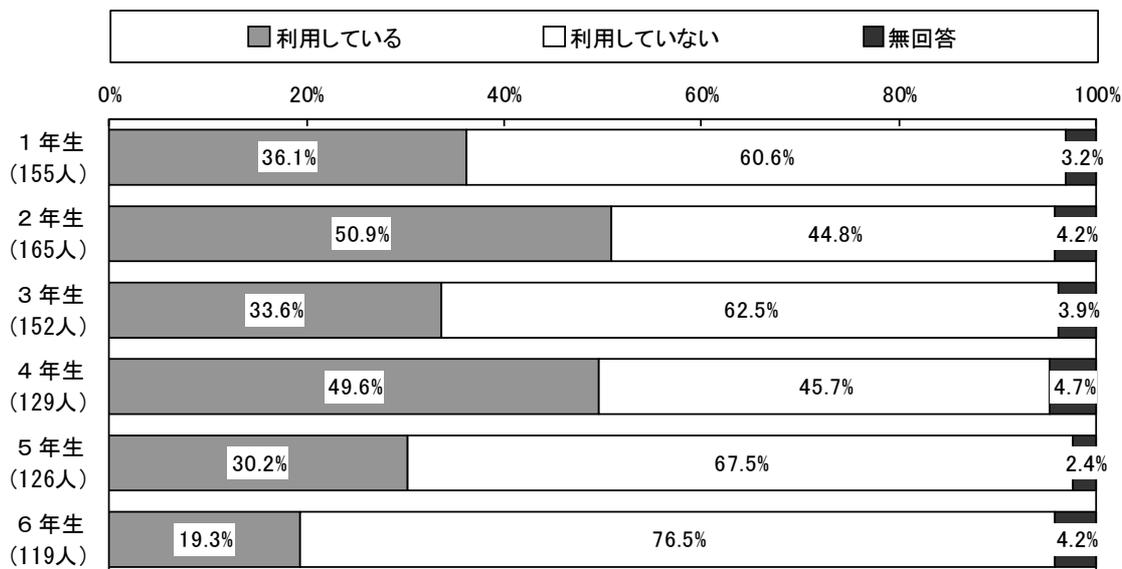
子どもの学年別に見ると、2年生と4年生がそれぞれ約50%を占めていて高くなっている。6年生は最も低く、19.3%であった。

小学校区別に見ると、「利用している」は、北玉小学校区が57.3%で最も高いほか、北谷第二小学校区も49.1%あり、この2小学校区での利用が特に高くなっている。

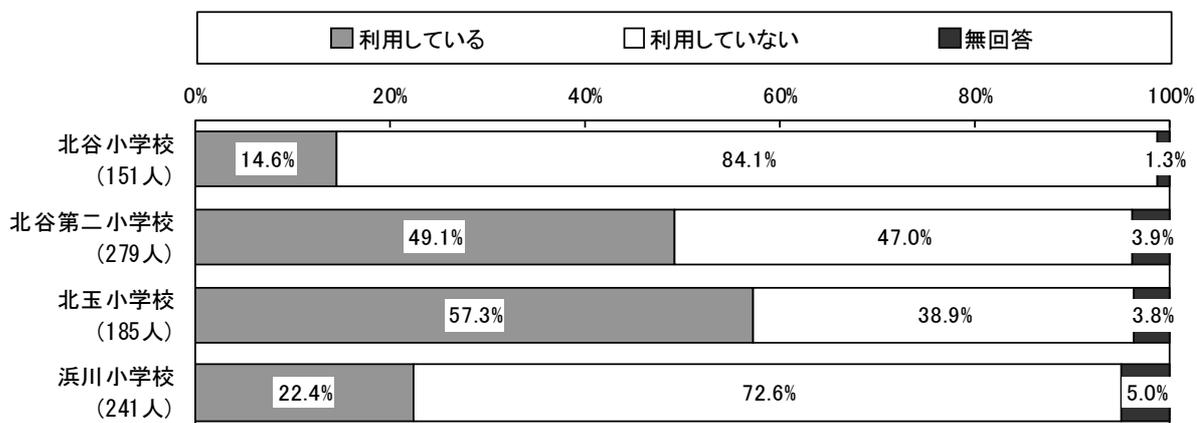
児童館の利用状況



子どもの学年別 児童館の利用状況

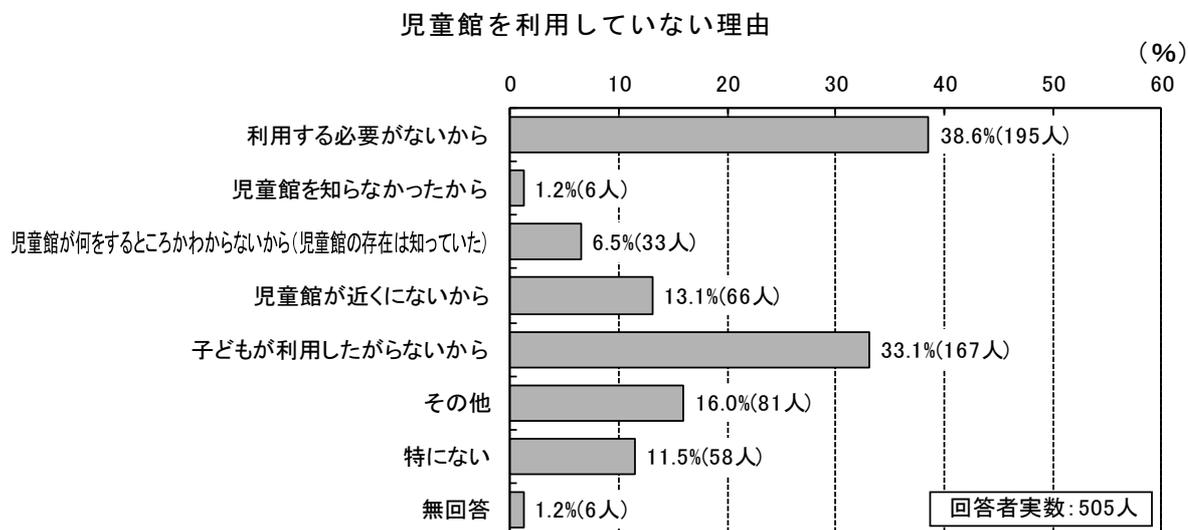


小学校区別 児童館の利用状況



## 2. 児童館を利用していない理由

児童館を利用していない理由では、「利用する必要があるから」が38.6%と最も高いが、次いで「子どもが利用したがないから」が33.1%を占めている。



中学校区別に利用していない理由を見ると、「子どもが利用したがない」という回答は、桑江中学校区の方で、やや高くなっている。

中学校区別 児童館を利用していない理由

	回答者 実数	利用する 必要がない から	児童館を 知らな かったから	児童館が何 をすると おろかわ からないから	児童館が 近くに ないから	子どもが 利用した がない から	その他	特にな	無回答
北谷 中学校区	258人	41.9% (108人)	1.9% (5人)	5.8% (15人)	11.6% (30人)	27.9% (72人)	18.2% (47人)	11.2% (29人)	1.2% (3人)
桑江 中学校区	247人	35.2% (87人)	0.4% (1人)	7.3% (18人)	14.6% (36人)	38.5% (95人)	13.8% (34人)	11.7% (29人)	1.2% (3人)

小学校区別に利用していない理由を見ると、「利用する必要がないから」は北谷第二小学校(43.5%)、北玉小学校(40.3%)、北谷小学校(40.2%)の3地区は4割台となっているが、浜川小学校のみやや低く、33.1%に留まっている。

「児童館が近くにないから」は、北谷小学校が21.3%であり、唯一2割台で高い。

また、「子どもが利用したがらないから」は、浜川小学校で41.1%と、他の地区より高くなっている。

小学校区別 児童館を利用していない理由

	回答者 実数	利用する 必要がない から	児童館を 知らなかつ たから	児童館が何 をすところ かわから ないから	児童館が 近くにな いから	子どもが 利用した がらない から	その他	特にな い	無回答
北谷 小学校	127人	40.2% (51人)	2.4% (3人)	6.3% (8人)	21.3% (27人)	25.2% (32人)	18.9% (24人)	8.7% (11人)	0.8% (1人)
北谷第二 小学校	131人	43.5% (57人)	1.5% (2人)	5.3% (7人)	2.3% (3人)	30.5% (40人)	17.6% (23人)	13.7% (18人)	1.5% (2人)
北玉 小学校	72人	40.3% (29人)	0.0% (0人)	4.2% (3人)	13.9% (10人)	31.9% (23人)	12.5% (9人)	9.7% (7人)	1.4% (1人)
浜川 小学校	175人	33.1% (58人)	0.6% (1人)	8.6% (15人)	14.9% (26人)	41.1% (72人)	14.3% (25人)	12.6% (22人)	1.1% (2人)

## ■ 自由回答

### 1 自由回答のまとめ

#### (1) 就学前児童保護者調査結果より

就学前の自由回答記入数は 192 件であった。回収数は 511 件で、自由回答への記入率は 37.5%となっている。記述式の回答は手間がかかることから、回答者には子育て支援分野への不満や困りごとなど切実な事情を抱えている人が非常に多いとともに、改善への期待が込められていると捉えられる。

保育関連の自由記述内容のみを抜き出して、全体的な傾向をまとめた。

傾向としては、

- ・待機児童の解消
- ・保育士の給与や待遇を良くして確保してほしい
- ・様々な遊具や駐車場が整備された年齢別に利用しやすい広い公園
- ・今ある公園の整備、遊具の修繕や充実
- ・天候に関係なく遊んだり学ぶことができる屋内施設
- ・職場に対して育児への理解と育休やお休みを取りやすい環境づくり
- ・病児保育ができる施設の拡充

このような声が多く見られた。

中でも、待機児童関係の声が数多く、希望する保育施設に入れたい、仕事をしたいが保育園に入れたいために就労できないという声も見られた。また、産休・育休明けの時期や早生まれなど子どもの誕生月によっては保育園入園が難しいという声も見られたため、いつでも(年度の途中からでも)保育園を利用できるよう環境を整える必要がある。

また、保育士の待遇改善と確保を望む声や、職場の育児への理解と休みを取得できる環境づくりを訴える声も目立った。

公園に関する要望も多く、既存の遊具の修繕や誰でも利用しやすい新しい公園を望む声も数多く見られた。

地区ごとに見ると、北谷中学校区では保育園を増やしてほしい、保育園の土曜預かりを勤務証明なしでも利用できるようにしてほしいといった声が見られた。

桑江中学校区では、気軽に相談できる窓口や町外出身者の地域のつながりについて望む声も見られた

以下、中学校区別の声を取りまとめた。

#### (北谷中学校区)

- ・待機児童を解消してほしい
- ・もっと保育園を増やしてほしい
- ・保育園の土曜預かりを勤務証明なしでも利用できるようにしてほしい
- ・保育士の給与や待遇を良くして確保してほしい
- ・もっと病児保育ができる場所が増えてほしい
- ・遊具が整備された大きな公園がほしい（年齢別で遊べる）
- ・公園の整備。薄暗い。遊具を増やしてほしい。または直してほしい
- ・雨天でも気にせず遊べる屋内施設がほしい
- ・職場に対してお休みを取りやすい環境づくりをしてほしい

#### (桑江中学校区)

- ・待機児童を解消してほしい
- ・希望する園に入れるようにしてほしい
- ・産まれた月に関わらず誰でも必要な時に保育園に入れるようにしてほしい
- ・保育士の給与や待遇を良くして確保してほしい
- ・土曜日でも気兼ねなく預けられるようになってほしい
- ・日祝日でも預かれる場所がほしい
- ・もっと病児保育ができる場所が増えてほしい
- ・遊具が整備された駐車場も広い公園がほしい（年齢別で遊べる）
- ・公園の整備。遊具を増やしてほしい。または直してほしい
- ・県外や他市町村からの移住者が溶け込みやすいようになってほしい
- ・気軽に親身になって相談に乗ってもらえる窓口がほしい
- ・職場に対して育休やお休みを取りやすい環境づくりをしてほしい

## (2) 小学生保護者調査結果より

自由回答への記入は 150 件あった。回収数は 856 件であり、自由回答への記入率は 26.6% となっている。

自由回答の中から、全体的な傾向をまとめてみた。

傾向としては、

- ・学童を安くしてほしい
- ・公園をつくってほしい。整備してほしい
- ・放課後、子どもが安全に遊べる場所
- ・長期休暇中に預ってくれる場所
- ・給食費の無料化

このような声が多く見られた。

特に、学童をもっと安くしてほしいという声が多かった。また、地域の中で安全に過ごす場所を求める声が目立ち、放課後過ごす場所として公園のほか児童館や放課後こども教室利用の要望も見られた。

その他、長期休暇中(夏休みなど)に子どもが過ごす場所について悩みを抱えている保護者も多く見られた。

経済的な支援の面では、給食費無償化の要望もあった。

地区ごとに見ると、北谷中学校区では、児童館の利用希望(特に北谷小学校区)、病児保育を望む声が見られた。

桑江中学校区では、通学路に関しての声が多く、北玉小学校区通学路のガードレールの設置、国道 58 号線を横切るためのスクールバスの運用や歩道橋を望む声も見られた。他には、学校内で子どもたちが過ごすことができるよう教室の開放や学童の設置、土日祝に安心して利用できる場所の確保も要望が多い。

以下、中学校区別の声を取りまとめた。

### (北谷中学校区)

- ・学童を安くしてほしい
- ・児童館(北谷小学校区)がほしい
- ・児童館の整備(公衆電話の設置、外の時計の修理など)
- ・児童館の支援員を増やしてほしい
- ・長期休み中、安全に子どもたちが過ごせる場所がほしい
- ・放課後子ども教室をもっと増やし、学べることを増やしてほしい
- ・放課後子ども教室や放課後児童クラブなどの情報がよく分からない
- ・放課後の子どもの居場所として無料塾や宿題ができる場所がほしい
- ・学校内で、放課後の見守りや放課後教室の人員を確保して居場所をつくってほしい
- ・公園を増やしてほしい

- ・通学路で交通のマナーが悪い車(路上駐車、スピードの出し過ぎなど)が多い
- ・学校給食無償化
- ・所得やひとり親などの条件なくでも、誰でも利用できる支援が多くあるといい
- ・病気の時に預ってもらえる支援
- ・学級担任がきちんといてほしい(何度も変わったり、不在の時期があったりした)
- ・宿題が多すぎる
- ・教育費を見直してほしい

#### (桑江中学校区)

- ・学童を安くしてほしい
- ・学童を増やしてほしい
- ・学校内に学童保育を行ってほしい
- ・公立の学童を増やしてほしい(民間は料金が高い)
- ・児童館の整備(トイレが暗いなど)
- ・北玉児童館は慣れた職員を配置してほしい
- ・北前、北谷、美浜地区に公的な場所が欲しい。公民館の常時開放など
- ・土日祝に子どもを安心して遊べるところがほしい
- ・長期休み中、安全に子どもたちが過ごせる屋内施設がほしい
- ・長期休み中だけ学童が利用できるようにしてほしい
- ・学校内で習い事や勉強ができたらいい
- ・公園を増やしてほしい
- ・公園の整備遊具を増やしてほしい
- ・商業施設に子どもが行くことに保安面などで不安を感じている。
- ・北玉小の通学路の整備(ガードレールの設置など)
- ・国道を渡って小学校に行くので、歩道橋やスクールバスがほしい
- ・ちーたんバスをもっと活用できるようにしてほしい(時間やルートの見直し)
- ・給食費の無料化